市道浅柄古志線歩道設置工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

田畑遺跡

――観察表――

2000年3月

出雲市教育委員会

例　言

1．　本書は出雲市教育委員会が2000年に発行した『田畑遺跡　市道浅柄古志線歩道設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（以下、本編という）に掲載した出土遺物のうち、土器等・石製品についての観察表である。

2．　本書の作成は三原が行ったが、全般にわたり田中義昭氏からご教示を賜った。また、陶磁器については細田美樹氏からご助言を頂いた。記して謝意を表しておきたい。なお、石製品の石材鑑定は羽木が行い、器種の判定は坂本が行った。

3．観察表の記載事項について

土器等観察表

挿図番号：本編の挿図番号に対応する。

器種：種類と器種を示した。

出土地点：調査区、遺構（グリッドetc.）、層位の順で記述した。

法量：実測図から測定した。よって、反転復元して実測したものについては復元値となる。

形態・文様の特徴：主要なものについて記述したほか、時期が推定できるものについてはそれも記した。なお、赤色塗彩されている場合には本編の実測図においてその箇所をスクリーントーンで示した。

手法の特徴：主要なものについて記述した。

①胎土②焼成③色調：①には胎土に含まれる砂粒（礫）の大きさとその量を記した。②は善し悪しを良好、良、やや良、普通、やや不良、不良の6段階に分けて判断した。③には『新版　標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修を用いた。

備考：上記以外に特記事項がある場合にのみ記述した。

石製品観察表

挿図番号：本編の挿図番号に対応する。

種類：器種を示した。

遺存状態：記述した器種としての遺存状態を示した。したがって、転用がなされているものについては転用後の器種での遺存状態である。

石材：石の種類を示した。

長さ、幅、厚さ：実測図から最大の数値を測定した。

重量：測定にあたっては最小目盛1gと5gの上皿バネ秤を用いた。

備考：加工痕や使用痕を中心に特記事項を記述した。なお、本編の実測図においては研磨面をスクリーントーンで示したものもある。

4．　本書の作成にあたっての参考文献は、本編のP153に「第3章　調査の結果」の参考文献として示した。

土器等観察表

挿図番号	器種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調（地）	備考
6－1	弥生土器 甕	1区 SI01-P1 1層	口径 24.1	口縁端部は肥厚し丸味を帯び、口縁部外面に 12 条程度の平行沈線施す。複合部の稜は斜め下方に突出し、頸部は「く」字状に屈曲するため内面に稜を持つ。草田3期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
6－2	弥生土器 高坏 or 器台	1区 SI01 1層	不明	脚裾部外面に 15 条以上の平行沈線を施す。	脚裾部 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く含む。 ②やや良 ③橙色	反転復元。
8－1	土師器 甕	1区 SK02 1層	不明	口縁部は単純に外反する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③灰黄褐色	
8－2	土師器 坏	1区 SK02 1層	口径 11.7 底径 5.4 器高 4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がるが、口縁部付近で若干外反し開口する。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm 以下の砂粒を含む ①普通 ③にぶい橙色	口縁部反転復元。
8－3	土師器 坏	1区 SK02 3層	口径 14.9	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒をまれに含む ②良 ③橙色	反転復元。
10－1	弥生土器 広口壺	1区 SK05 1層	口径 29.7	口縁端部は下方に拡張し、端面に3条の凹線文を巡らせた後に刻目文を施す。内面には刻目文、斜格子文、5 条の凹線文を施す。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ 底部 外面：ハケ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く含む。 ②普通 ③灰黄色	反転復元。
10－2	弥生土器 広口壺	1区 SK05 4層	口径 20.4	口縁端部は上下に若干拡張する。内面と端面の境に刻目文を施す。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
10－3	弥生土器 広口壺	1区 SK05 1層	不明	口縁部内面に斜格子文を施す。頸部外面には断面三角形の突帯文を3条貼り付ける。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ 頸部 内外面：ハケ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
10－4	弥生土器 甕	1区 SK05 1・2層	口径 20.3	口縁端部は上方に若干拡張し、端面には1条の凹線文を巡らせた後に、刻目文を施す。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
10－5	弥生土器 鉢	1区 SK05 1・2層	口径 20.9 底径 9.1 器高 18.4	口縁端部は若干肥厚し、端面と胴部最大径付近に刺突文を施す。松本Ⅲ-2期。	口縁部 内面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ 胴部下半 外面：ミガキ 内面：ハケ 底部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	ほぼ完形に復元できた。
10－6	弥生土器 不明 （底部）	1区 SK05 2層	底径 5.0	平底。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 内外面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
12－1	弥生土器 高坏	1区 SK09	不明	脚部に凹線文を 20 条以上施す。凹線を跨ぐ3段の刻目文が観察できる。	脚部 外面：ナデ？ 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや不良 ③浅黄橙色	反転復元。
12－2	土師器 坏	1区 SK09	高台径 6.0	底面外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付ける。	底部 外面：回転ナデ 内面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
14－1	弥生土器 広口壺	1区 SK10	不明	口縁端部は下方に拡張し、端面に3条の凹線文と2段の刻目文を巡らす。内面には刻目文、斜格子文、凹線文を施す。松本Ⅲ期。	口縁部 外面：ナデ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい黄橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
14 － 2	弥生土器 広口壺	1区 SK10 1層	不　明	頸部に突帯文を2段貼り付ける。	頸部 外面：ハケ 内面：ナデ、ハケ、ケズリ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通　③にぶい黄橙色	反転復元。
14 － 3	土師器 坏	1区 SK10 1層	底径　5.0	底部で絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
14 － 4	土師器 坏？	1区 SK10 1層	底部　6.0	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
16 － 1	須恵器 皿	1区 SK12 上層	口径　27.4 底径　20.0 器高　2.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に開口し、先細りの断面を呈する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 3.5mm 大の礫を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
16 － 2	土製品 土錘	1区 SK12	長さ　5.6 幅　1.6 孔径　0.5	管状紡錘形土錘。	表面：オサエ？	①砂粒をあまり含まず密 ②普通 ③にぶい黄橙色	
18 － 1	弥生土器 甕	1区 SK13	口径　27.0	複合部の稜は水平方向に突出する。草田5期。	口縁部 内外面：ナデ 肩部 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
18 － 2	須恵器 坏	1区 SK13 3層	高台径 13.5	底面外縁に高台を貼り付ける。高広Ⅳ期。	底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰色	反転復元。
20 － 1	土師器 坏	1区 SK14 2層	口径　9.8	体部で内湾気味に立ち上がった器壁は、口縁部で若干外反し開口する。11 世紀？	口縁部・体部 外面：回転ナデ 内面：ナデ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや不良 ③浅黄橙色	反転復元。
20 － 2	土師器 坏	1区 SK14 1層	口径　11.9	体部で内湾気味に立ち上がった器壁は、口縁部で若干外反し開口する。11 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①まれに 1mm 大の砂を含むが密 ②普通　③にぶい黄橙色	反転復元。
20 － 3	土師器 坏	1区 SK14 1層	口径　16.6	体部で内湾気味に立ち上がった器壁は、口縁部で外反気味に開口する。11 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通　③にぶい橙色	反転復元。
20 － 4	土師器 坏	1区 SK14 1層	口径　14.7	器壁は体部で若干内湾する。高台の付く可能性あり。10 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通　③にぶい橙色	反転復元。
20 － 5	土師器 坏	1区 SK14 2層	底径　5.8	底部で絞られた器壁は体部に向かい内湾して立ち上がる。10 ～ 11 世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
20 － 6	土師器 坏	1区 SK14 3層	底径　5.5	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。10 ～ 11 世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや不良 ③灰黄褐色	反転復元。
20 － 7	土師器 坏	1区 SK14 1層	底径　5.9	器壁は僅かに絞られた底部から体部に向かい若干内湾気味に立ち上がる。10 ～ 11 世紀？	体部 外面：回転ナデ 内面：ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
20 － 8	土師器 坏	1 区 SK14 1 層	底径　6.6	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。9 世紀？	体部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
20 － 9	土師器 坏	1 区 SK14 2 層	底径　5.2	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。11 ～ 12 世紀。	体部 内外面：ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ？	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
20 － 10	土師器 坏	1 区 SK14 2 層	底径　4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。11 ～ 12 世紀。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
20 － 11	土師器 坏	1 区 SK14 3 層	口径　11.5 底径　4.6 器高　2.7	底部で強く絞られた器壁は口縁部に向かい直線的に広く開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
20 － 12	土師器 坏	1 区 SK14 1 層	高台径 9.8	底面外縁に「ハ」字状に開く高い高台を貼り付ける。11 世紀。	底部 内外面：ナデ	① 3mm 以下の砂礫を含む。 ②良 ③にぶい橙色	
20 － 13	土師器 坏	1 区 SK14 1 層	高台径 10.4	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。11 世紀。	底部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
20 － 14	土師器 坏	1 区 SK14 2 層	高台径 9.9	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。全面に赤色塗彩を施す。11 世紀。	体部・底部 内外面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を少し含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
20 － 15	土師器 甕	1 区 SK14 2 層	口径　22.3	口縁端部を丸くおさめる。頸部は「く」字状に屈曲する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒を多く含む ②やや不良 ③橙色	反転復元。
20 － 16	土師器 壷？	1 区 SK14 1 層	底径　18.0	底面外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付ける。器壁は底部から胴部にかけて若干内湾し立ち上がる。	胴部・底部 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
20 － 17	須恵器 蓋	1 区 SK14 上層	不　明	輪状摘みを貼り付ける。高広Ⅲ期。	甲部 外面：回転ナデ 内面：ナデ？	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良　③灰色	反転復元。
20 － 18	須恵器 坏	1 区 SK14 2 層	口径　16.5	器壁は底部から若干内湾し立ち上がるが、口縁部付近でやや外反し開口する。高広Ⅳ期？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ？	①砂粒をあまり含まず密 ②やや不良 ③灰色	反転復元。
20 － 19	須恵器 壷？	1 区 SK14 2 層	不　明	口縁部は大きく外反し開口すると思われる。	頸部 内外面：回転ナデ？	① 2mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰色	反転復元。 口縁部内面と肩部外面に自然釉が付着する。
23 － 1	弥生土器 甕	1 区 SK15 1 層	口径　19.0	口縁部外面に 4 条の凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 頸部以下 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
23 － 2	土師器 坏	1 区 SK15 2 層	口径　12.2 底径　6.1 器高　4.5	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	
25 － 1	土師器 坏？	1 区 SK16 1 層	口径　11.6	体部から内湾気味に立ち上がった器壁は口縁部で屈曲を変え、外反し開口する。内外面に赤色塗彩を施す。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②普通　③橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
25 － 2	須恵器 坏	1 区 SK16 1 層	底径　9.0	底面外縁に高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
25 － 3	須恵器 坏	1 区 SK16 2 層	底径　7.6	底面外縁に高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
25 － 4	須恵器 皿	1 区 SK16 2 層	口径　15.7 底径　11.5 器高　2.9	器壁は口縁部で若干外反し開口する。高広Ⅳ期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
27 － 1	土師器 甕	1 区 SK17 上層	口径　25.9	口縁部は単純に外反し先細りの断面を呈する。頸部は「く」字状に屈曲する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
27 － 2	土師器 甕	1 区 SK17 上層	口径　20.6	口縁部は単純に外反する。頸部は曲線的に屈曲する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ？ 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
27 － 3	須恵器 坏	1 区 SK17 1 層	口径　14.5	器壁は体部から内湾して立ち上がり開口する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良　③灰色	反転復元。
29 － 1	須恵器 蓋	1 区 SK18 1 層	口径　13.9 器高　1.3 （摘を除く）	口縁端部を下方に若干引き出す。高広Ⅳ B 期。	口縁部 内外面：回転ナデ 甲部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②やや良 ③灰色	反転復元。
31 － 1	弥生土器 甕	1 区 SK19 1 層	口径　11.6	口縁部外面に 2 状の凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
31 － 2	土師器 坏	1 区 SK19 1 層	口径　12.0 底径　5.1 器高　4.7	器壁は底部から内湾して立ち上がり、口縁部付近で強くナデられ開口する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：ナデ	① 5 ～ 7mm 大の礫を数個含む ②普通 ③橙色	ほぼ完形。
31 － 3	須恵器 壷？	1 区 SK19 1 層	口径　13.9	口縁端部を上方に若干引き出す。	口縁部 外面：回転ナデ 内面：ナデ 頸部 内外面：回転ナデ	①まれに 1mm 大の礫を含むが緻密 ②良 ③赤褐色	反転復元。 口縁部内面に自然釉がかかる。
31 － 4	須恵器 高坏	1 区 SK19 1 層	脚端径 18.2	裾部は大きく広がり端部を下方に引き出す。	脚部 内外面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂礫を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
31 － 5	須恵器 蓋	1 区 SK19 1 層	口径　14.5 器高　1.4 （摘を除く）	口縁端部を下方に僅かに引き出す。甲部外面中央に宝珠状摘が剥離した痕跡が残る。高広Ⅳ B 期。	口縁部 内外面：回転ナデ 甲部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
32 － 1	須恵器 甕	1 区 SK19 1 層	口径　62.8	口縁部は外反して開口し、外面に 5 条 1 単位の波状文を 3 段巡らす。また、そのそれぞれの下位に 3 条 1 単位の沈線を施す。肩部は大きく張っている。古墳時代終末期頃？	口縁部 内外面：ナデ 肩部 外面：タタキ（叩き板） 内面：オサエ（当て具）	① 4mm 以下の砂礫を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。 肩部外面に自然釉がかかる。
32 － 2	須恵器 甕	1 区 SK19 1 層	不　明	口縁部は外反して開口し、外面に 7 条 1 単位の波状文を 3 段巡らす。また、そのそれぞれの下位に下位に、1 条あるいは 2 条の沈線を施す。古墳時代終末期頃？	口縁部 内外面：回転ナデ	① 5mm 以下の砂礫を含むが密 ②良好 ③灰色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
34 － 1	土師器 甕	1 区 SK24	不　明	複合部の稜は水平方向に突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良　③にぶい黄橙色	
36 － 1	弥生土器 長頸壷	1 区 SK25 1 層	口径　24.0	口縁部から頸部にかけての外面に刻目文を施した突帯を 6 条貼り付け、棒状浮文も施す。口縁端面には斜格子文、外縁に刻目文を施す。松本Ⅲ-2 期。	口縁部・頸部 内外面：ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
36 － 2	弥生土器 甕	1 区 SK25	口径　17.7	口縁部外面に 5 条の凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
38 － 1	弥生土器 広口壷	1 区 SK26 1 層	口径　26.6	口縁端面に 4 条の凹線文を巡らし、刻目文を異方向に 2 段施す。また、2 つ円形浮文が認められる。松本Ⅲ-2 ～Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 4mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③黄灰色	反転復元。
38 － 2	弥生土器 広口壷	1 区 SK26 1 層	不　明	口縁部内面に櫛描文、刻目突帯文、棒状浮文を施す。松本Ⅲ-2 ～Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	
38 － 3	弥生土器 不明 （口縁部）	1 区 SK26 1 層	不　明	口縁部内面に斜格子文と 2 つの円形浮文が認められ、端面と外面に赤色塗彩の痕跡が残る。また、頸部？内面には波状文を施す。松本Ⅲ-2 ～Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
38 － 4	弥生土器 甕	1 区 SK26 1 層	底径　11.5	平底。松本Ⅲ-2 ～Ⅳ-1 期。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
41 － 1	弥生土器 甕	1 区 SK27 上層	口径　17.6 （推定）	口縁端部は上下に拡張し、端面に 2 条以上の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
41 － 2	土師器 坏	1 区 SK27 1 層	不　明	底面に「ハ」字状に開く高台を貼り付けていたと思われる。器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がる。11 世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ消し 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
41 － 3	土師器 坏	1 区 SK27 1 層	底径　5.1	底部で絞られた器壁は体部にかけて内湾して立ち上がる。12 世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 3mm 大の礫を含むが密 ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
41 － 4	土師器 坏	1 区 SK27 1 層	底径　4.3	底部で強く絞られた器壁は体部に向かい直線的に広く立ち上がる。12 世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
41 － 5	須恵器 蓋	1 区 SK27 1 層	口径　12.8 器高　1.2 （摘を除く）	口縁端部は下方に若干引き出される。宝珠状摘を有していたと思われる。高広ⅣB 期。	口縁部 内外面：回転ナデ 甲部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③灰色	反転復元。
41 － 6	須恵器 蓋	1 区 SK27 1 層	口径　17.8	口縁端部下方に若干引き出される。高広ⅣB 期。	口縁部 内外面：回転ナデ	① 0.2mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。 口縁部外面に自然釉が付着する。
43 － 1	土師器 坏	1 区 SK28 2 層	底径　6.0	器壁は底部から体部にかけて若干外反し立ち上がる。11 ～ 12 世紀。	体部 内外面：ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①まれに 3mm 大の礫を含むが密 ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
45 － 1	陶　器 皿	1区 SK32 1層	口径　17.5	体部で内湾し立ち上がった器壁は口縁部で外反し開口する。体部内面に草の様なものを描く。17世紀。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③釉：灰色　地：灰褐色	反転復元。 唐津焼。
46 － 1	弥生土器 長頸壺	1区 SK33 1層	不　明	頸部下半に5条以上の突帯を削り出す。松本Ⅳ-1期？	頸部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ 頸部下半 外面：ナデ 内面：シボリ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
46 － 2	弥生土器 甕	1区 SK33 2層	口径　19.8	口縁端部は上下に若干拡張し、端面に2条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲し、外面に突帯文を貼り付ける。胴部最大径付近の外面に列点文を施す。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：オサエ後ハケ	① 3mm 以下の砂礫を多く含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。 胴部の器表が3箇所径 4cm の円形状に剥がれている。
46 － 3	弥生土器 高坏？	1区 SK33 1層	脚端径 8.2	脚裾部は広がり、端部に面を有する。松本Ⅳ-1期？	坏部 外面：不明 内面：ハケ 脚部 外面：不明 内面：ケズリ？	① 3mm 以下の砂礫を多く含む ②やや不良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
46 － 4	弥生土器 甕？	1区 SK33 1層	底径　9.2	平底。松本Ⅳ-1期？	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ後ナデ	① 3mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
46 － 5	弥生土器 甕？	1区 SK33 2層	底径　8.4	平底。松本Ⅳ-1期？	胴部下半 外面：ハケ 内面：ナデ？ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ後ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
46 － 6	弥生土器 甕？	1区 SK33 1層	台端径 4.9	底部に「ハ」字状に開く台を有する。器壁は底部から胴部に向かい急に立ち上がる。松本Ⅳ-1期？	胴部下半 外面：ハケ？ 内面：ナデ 底部 外面：不明 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③褐灰色	
49 － 1	土師器 坏	1区 SK34 1層	高台径 8.8	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③橙色	反転復元。
49 － 2	土師器 坏	1区 SK34 2層	高台径 8.8	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
49 － 3	土師器 坏	1区 SK34 2層	高台径 9.3	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：ナデ？	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③浅黄橙色	
49 － 4	土師器 坏	1区 SK34 1層	不　明	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高台を貼り付ける。器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 5mm 大の礫を含む ②やや良 ③浅黄橙色	
49 － 5	土師器 坏	1区 SK34 2層	不　明	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高台を貼り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①まれに 6mm 大の礫を含むが密 ②良　③にぶい褐色	
49 － 6	土師器 坏	1区 SK34 1層	不　明	底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。11世紀。	底部 内外面：ナデ	①まれに 5mm 大の礫を含む ②良 ③浅黄橙色	
49 － 7	土師器 坏	1区 SK34 1層	底径　5.4	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。11世紀？	体部 内外面：回転ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
49 － 8	須恵器 蓋	1 区 SK34 1 層	口径　19.3	口縁端部は下方に若干引き出される。高広Ⅳ B 期。	口縁部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。 口縁端部付近外面に自然釉が付着する。
49 － 9	土製品 土錘	1 区 SK34 1 層	長さ　4.4 幅　1.5 孔径　0.6	管状紡錘形土錘。	表面：ナデ？	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	
51 － 1	土師器 坏 or 皿	1 区 P0201 2 層	底径　4.4	底部を強く絞り、器壁は底部から体部にかけて直線的に広く立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
51 － 2	弥生土器 甕	1 区 P0409	口径　21.8	口縁外面に 5 条の浅い平行沈線を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①まれに 3mm 大の礫を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
51 － 3	土師器 甕	1 区 P0502	口径　20.0	口縁端部は若干肥厚し平坦な端面に条溝を有する。複合部稜は斜め下方に突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
51 － 4	土師器 坏	1 区 P1302 2 層	口径　14.2	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がり、口縁部で僅かに外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①まれに 1mm 大の砂を含むが密 ②良 ③橙色	反転復元。
51 － 5	土師器 坏	1 区 P1302	底径　6.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③橙色	反転復元。
51 － 6	須恵器 皿	1 区 P1304 5 層	口径　24.1 底径　20.0	器壁は底部から直線的に立ち上がり開口する。高広Ⅳ期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転ヘラ起し後ナデ 内面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
51 － 7	須恵器 皿	1 区 P1308 3 層	口径　24.9 底径　18.5	器壁は底部から直線的に立ち上がり開口しする。高広Ⅳ A 期	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②良 ③黄灰色	反転復元。
51 － 8	土師器 坏	1 区 P1308 4 層	底径　6.7	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③橙色	反転復元。
51 － 9	弥生土器 甕	1 区 P1504	口径　22.0	口縁端部は内傾して上下に拡張し、端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ハケ？	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
51 － 10	弥生土器 甕	1 区 P1504	口径　13.8	口縁部外面に 2 条の浅い凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
51 － 11	須恵器 坏	1 区 P1601	不　明	底面外縁やや内寄りに高台を貼り付ける。高広Ⅳ A 期。	底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③灰色	反転復元。
51 － 12	陶磁器 碗	1 区 P1613	口径　11.7	器壁はやや外傾して立ち上がり、口縁端部は丸くおさめる。	口縁部・体部 内外面：施釉（貫入有り）	①砂粒を含まず緻密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色　地：灰色	反転復元。 肥前系。
51 － 13	弥生土器 注口土器	1 区 P1705	径　2.6 孔径　1.1	器壁は厚く端部は平坦面をなす。	注口部 外面：ミガキ 内面：ナデ？（棒状原体）	① 2mm 以下の砂粒を多く含む ②普通 ③にぶい黄橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
51 － 14	須恵器 坏	1 区 P1803	口径　13.5 底径　11.0 器高　3.7	器壁は底部から内湾して立ち上がり、口縁端部付近で若干屈曲して開口する。高広Ⅳ A 期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
53 － 1	弥生土器 甕	1 区 SD01 2 層	口径　20.1	口縁部外面に 4 条の凹線文、肩部外面に列点文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 3mm 以下の砂礫を多く含む ②普通 ③にぶい黄褐色	反転復元。
53 － 2	弥生土器 甕	1 区 SD01 1 層	口径　20.0	口縁部外面に 4 条の平行沈線を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。草田 2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
53 － 3	弥生土器 甕	1 区 SD01 1 層	口径　14.9	口縁部外面に 3 条の凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③橙色	反転復元。
53 － 4	弥生土器 甕	1 区 SD01 1 層	口径　14.0	口縁部外面は強くナデつけられ、凹面状を呈する。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
53 － 5	弥生土器 甕？	1 区 SD01 3 層	底径　8.2	平底。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1.5mm 以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
53 － 6	弥生土器 高坏	1 区 SD01 1 層	口径　22.8	口縁端部は拡張し端面に 4 条の凹線文を巡らす。坏部外面の体部と底部の境に稜が突出する。松本Ⅳ-2 期。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 内外面：ミガキ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。 吉備系。
54 － 1	須恵器 壷	1 区 SD02 1 層	口径　19.4	口縁部は広く外反し開口する。外面に段を有する。	口縁部 内外面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③黄灰色	反転復元。 内外面に自然釉が付着する。
56 － 1	弥生土器 甕	1 区 SD05	口径　19.4	口縁部外面に 4 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
56 － 2	陶磁器 不明 （底部）	1 区 SD05	底径　8.9	平底。	胴部・底部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③にぶい赤褐色	反転復元。
58 － 1	弥生土器 不明 （底部）	1 区 SD06 1 層	底径　11.6	平底。	胴部下半 外面：ハケ 内面：ハケ？ 底部 外面：ナデ 内面：不明	① 4mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。 底部の器肉は厚い。
58 － 2	陶磁器 擂鉢	1 区 SD06 1 層	底径　11.9	平底。14 条一単位の擂り目を内面に施す。	胴部下半 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒を含まず緻密 ②良好 ③褐灰色	反転復元。 肥前系。
58 － 3	陶磁器 火鉢？	1 区 SD06 1 層	不　明	外面に雷文と 3 条の沈線により施文する。	口縁部・胴部 外面：ナデ 内面：オサエ後ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②普通 ③橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
61 － 1	土師器 甕	1区 SD11 1層	高台径 6.0	口縁部は頸部から広く外反し開口する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①2.5mm以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
63 － 1	土師器 坏	1区 SD12 1層	底径　6.0	器壁は底部から体部に向かい内湾し立ち上がる。10～12世紀？	体部 内外面：回転ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
63 － 2	土師器 坏	1区 SD12 1層	底径　5.5	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾して立ち上がる。10～12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄橙色	器表の調整は雑である。
63 － 3	土師器 坏	1区 SD12 2層	底径　5.5	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に広く立ち上がるようである 12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ？	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
63 － 4	土師器 坏	1区 SD12 1層	底径　5.5	底部で強く絞られた器壁は体部に向かい直線的に広く立ち上がる。12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに3mm大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
65 － 1	土師器 坏	1区 SD14 1層	不　明	底部外縁に「ハ」字状に開く高い高台を貼り付ける。器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。11世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
65 － 2	土師器 坏	1区 SD14 2層	脚端径 6.6 （推定）	底部外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付ける。10～11世紀。	底部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③浅黄橙色	
65 － 3	土師器 坏	1区 SD14 1層	底径　5.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。11～12世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
65 － 4	土師器 坏	1区 SD14 4層	口径　6.0	底部で強く絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。11～12世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①まれに2.5mm大の礫を含むが密 ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
65 － 5	須恵器 蓋	1区 SD14 1層	口径　15.3 器高　1.6 （摘を除く）	口縁端部を下方に若干引き出す。高広ⅣB期。	口縁部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 甲部 外面：ケズリ 内面：ナデ	①まれに4mm大の砂を含む ②良 ③灰色	反転復元。
67 － 1	弥生土器 広口壺	1区 SD19 1層	口径　37.7	口縁部は端部で下方に拡張し、端面に3条、内面に5条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
67 － 2	弥生土器 甕	1区 SD19 1層	口径　26.0	口縁端部は上下に拡張し、端面に3条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
67 － 3	弥生土器 甕	1区 SD19 2層	口径　17.5	口縁端部は上下に拡張し、端面に4条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
67 － 4	弥生土器 甕	1区 SD19 下層	不　明	口縁端部は上下に若干拡張し、端面に2条の凹線文と刻目文を施す。頸部外面には突帯文を貼り付ける。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③黄灰色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
67 － 5	弥生土器 高坏	1 区 SD19 1 層	口径　17.0	口縁部端面に 2 条の凹線文を巡らす。体部外面には 4 条の凹線文と 3 段の刻目文を施す。松本Ⅳ-2 期。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 内外面：ミガキ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。 塩町系？
67 － 6	弥生土製品 紡錘車	1 区 SD19 1 層	径　　5.0 厚さ 0.4 ～0.7 孔径　0.5	断面は湾曲している。松本Ⅳ-2 期？	表面：ハケ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	甕胴部片を転用している。
67 － 7	土師器 坏	1 区 SD19 4 層	脚端径 8.4	底面外縁に「ハ」字状に広く開く高い高台を貼り付ける。器壁は体部に向かい内湾して立ち上がる。11 世紀。	体部・底部 内外面：ナデ	① 4mm 以下の砂礫を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
69 － 1	土師器 坏	1 区 SX02	脚端径 9.2	底部外縁に「ハ」字状に広く開く高台を貼り付ける。11 世紀。	高台 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②やや良　③にぶい黄橙色	反転復元。
69 － 2	土師器 坏	1 区 SX02	底径　5.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
69 － 3	土師器 坏	1 区 SX02	底径　5.4	底部で絞られた器壁は体部に向かい広く立ち上がる。10 ～ 11 世紀？	底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 4mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良　③にぶい黄橙色	反転復元。
69 － 4	須恵器 坏？	1 区 SX02	底径　1.8	器壁は丸味を帯びた底部から体部に向かい内湾し立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転ヘラ起し 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。 蓋である可能性も有る。
70 － 1	弥生土器 長頸壷	1 区 14Gr 地山直上層	口径　23.5	口縁端部は肥厚し、端面とその外縁に刻目文を巡らす。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 外面：ハケ 内面：ハケ後ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
70 － 2	弥生土器 長径壷	1 区 14Gr 地山直上層	口径　21.5	口縁端部は左右に拡張し、端面に斜格子文、外縁に刻目文を施す。また、浅い刻目文を施した突帯文を貼り付け、棒状浮文も貼り付ける。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
70 － 3	弥生土器 広口壷	1 区 14Gr 地山直上層	口径　23.9	口縁端部は下方に拡張し端面の上下の外縁に刻目文を巡らす。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 外面：ナデ 内面：ハケ 頸部 外面：ハケ 内面：ナデ？	① 3mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
70 － 4	弥生土器 広口壷	1 区 14Gr 地山直上層	口径　32.0	口縁端部は肥厚し端面に 3 条の凹線文と刺突文を巡らす。また、外面に刻目文を施した突帯文を 2 条貼り付ける。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
70 － 5	弥生土器 広口壷	1 区 14Gr 地山直上層	口径　34.0	口縁端部は上下に若干拡張し端面に 3 条の凹線文と 2 段の刻目文を巡らす。また、内面には刻目文、斜格子文、4 条の凹線文を施す。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
70 － 6	弥生土器 広口壷	1 区 13Gr 地山直上層	口径　32.7	口縁端部は上下に若干拡張し端面に 3 条の凹線文を巡らす。また、内面にも 4 条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰黄褐色	反転復元。
71 － 1	弥生土器 甕	1 区 14Gr 地山直上層	口径　20.5	口縁部は単純に外傾し端部は若干肥厚する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
71 － 2	弥生土器 甕	1 区 14Gr 地山直上層	口径　15.9	口縁部は強く外傾し、頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ後ナデ 内面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
71 － 3	弥生土器 甕	1 区 14Gr 地山直上層	口径　18.0	口縁端部は上下に拡張し端面に 2 条の凹線文と連続刻目文を施した後に、2 つ円形浮文を貼り付ける。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
71 － 4	弥生土器 甕	1 区 8Gr 地山直上層	口径　16.9	口縁端部は上方に拡張し端面に 2 条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1 期。	口縁部・胴部上半 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
71 － 5	弥生土器 甕	1 区 7・8Gr 地山直上層	口径　20.2	口縁部外面に 3 条の凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ後ミガキ？ 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②良 ③橙色	反転復元。
71 － 6	弥生土器 甕	1 区 13Gr 地山直上層	口径　14.8	口縁部外面に 5 条の平行沈線を巡らす。草田 2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③浅黄色	反転復元。
71 － 7	弥生土器 甕	1 区 1Gr 地山直上層	口径　14.5	口縁部外面に 5 条程度の平行沈線を雑に巡らす。草田 2 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
71 － 8	弥生土器 高坏	1 区 7Gr 地山直上層	脚端径 13.5	脚部外面に 5 条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ期。	脚部 外面：ハケ後ナデ？ 内面：ケズリ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
71 － 9	弥生土器 高坏 or 器台	1 区 16Gr 地山直上層	脚端径 15.8	脚部外面に 6 条の凹線文を巡らす。草田 1 期。	脚部 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 2mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
71 － 10	弥生土器 壷	1 区 14Gr 地山直上層	底径　11.0	平底。胴部外面と底部外面の境界稜は明瞭である。松本Ⅲ期。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ハケ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 3mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
71 － 11	弥生土器 壷	1 区 14Gr 地山直上層	底径　12.9	平底。松本Ⅲ～Ⅳ期。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：不明	① 3mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
71 － 12	弥生土器 壷	1 区 1Gr 地山直上層	底径　8.1	平底。草田 1 期以降。	胴部下半 外面：ハケ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 1	土師器 坏	1 区 12Gr 地山直上層	口径　11.9 底径　8.0 器高　3.3 （推定）	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。内外面に赤色塗彩を施す。奈良時代。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：不明 内面：回転ナデ	①ほとんど砂粒を含まず密 ②良 ③橙色	反転復元。
72 － 2	土師器 坏	1 区 10・11Gr 地山直上層	底径　7.3	器壁は底部から体部にかけて内湾し立ち上がる。10 世紀？	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
72 － 3	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.0 底径　5.4 器高　4.5	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。10 ～ 11 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 4mm 以下のの礫を含むが密 ②良 ③にぶい黄橙色	
72 － 4	土師器 坏	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　12.8	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で外反し開口する。底部外面に高台の剥離痕が残る。10 ～ 11 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
72 － 5	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　14.2 高台径 10.0 器高　7.4	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。底面外縁に「ハ」字状に大きく開く高い高台を貼り付ける。11 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂礫を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。 胎土に籾が混ざっている。
72 － 6	土師器 坏	1 区 6・7Gr 撹乱	口径　15.3 高台径 10.5 器高　7.3	器壁は底部から体部にかけて若干内湾して立ち上がった後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付ける。11 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。 胎土に籾が混ざっている。
72 － 7	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　14.1	器壁は底部から体部にかけて若干内湾して立ち上がった後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に高台の剥離痕が残る。11 ～ 12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
72 － 8	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　14.5 高台径　8.8 器高　6.7	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で外反し開口する。底面外縁に「ハ」字状に広く開く高台を貼り付ける。11 ～ 12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の礫を含むが密 ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
72 － 9	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.7	器壁は底部から体部にかけて若干内湾して立ち上がった後に口縁部でやや外反し開口する。底面外縁に高台の剥離痕が残る。11 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 5mm 以下の砂礫を少し含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 10	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.7	器壁は底部から体部にかけて僅かに内湾した後に口縁部に向かい直線的に開口する。底面外縁に高台の剥離痕が残る。11 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
72 － 11	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	高台径　7.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。底面の外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付け、「×」印状のヘラによる線刻が残る。10 ～ 11 世紀。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 5mm 大の礫を含むが密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 12	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.7 底径　5.4 器高　4.9	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる開口する。底部外面に 3 条の平行な条溝が残る。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 3mm 大の礫を含むが密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。 胎土に籾が混ざっている。
72 － 13	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.8 底径　6.0 器高　4.9	器壁は底部から体部にかけて僅かに内湾するが口縁部にかけては直線的に立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 内面：底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 14	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.7 底径　6.8 器高　4.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底面外面に 2 条の平行な条溝が残る。12 世紀？	口縁部・体部 外面：回転ナデ 内面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 15	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.3 底径　5.1 器高　4.4	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて僅かに内湾するが口縁部にかけては直線的に立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
72 － 16	土師器 坏	1 区 6・7Gr 撹乱	口径　13.3 底径　7.0 器高　4.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
72 － 17	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　17.5 底径　5.4 器高　4.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。外面に赤色塗彩を施す。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
73 － 1	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.5 底径　5.3 器高　4.6	底部で若干絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上った後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
73 － 2	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.2 底径　6.1 器台　5.4	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近でやや外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	
73 － 3	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.2 底径　5.9 器高　4.6	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。底部外面に 1 条の条溝を残す。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 4	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.1 底径　5.9 器高　4.8	底部で絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近でごく僅かに外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含むが密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 5	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.8 底径　5.6 器高　4.5	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
73 － 6	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.2 底径　6.0 器高　4.6	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾して立ち上がった後に口縁端部付近でやや外反して開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 7	土師器 坏	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　12.0 底径　5.5 器高　4.3	器壁は底部から体部にかけて若干内湾するが口縁部にかけては直線的に立ち上がる。底部外面に 3 条の平行な条溝が残る。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 7mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 8	土師器 坏	1 区 10・11Gr 地山直上層	口径 底径 器高	底部で僅かに絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近でやや外反し開口する。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
73 － 9	土師器 坏	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　11.7 底径　5.5 器高　4.2	底部で絞られた器壁は体部にかけて若干内湾して立ち上がった後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 4mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
73 － 10	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　12.8 底径　5.3 器高　4.0	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で若干外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 3mm 大の礫を含むが密 ②良好 ③にぶい橙色	反転復元。
73 － 11	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　13.2 底径　6.0 器高　4.2	底部で絞られた器壁は体部にかけてごく僅かに内湾した後に口縁端部付近でやや外反し開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 12	土師器 坏	1 区 10・11Gr 地山直上層	口径　13.0 底径　5.1 器高　4.0	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で外反し開口する。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
73 － 13	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.5 底径　4.5 器高　4.0	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。全面に赤色塗彩を施す。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 内面：底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①3mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
73 － 14	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　10.8 底径　4.6 器高　4.1	底部で絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で若干外反して開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 15	土師器 坏	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　12.0 底径　4.8 器高　3.9	底部で絞られた器壁は体部にかけて内湾して立ち上がった後に口縁端部付近でやや外反し開口する。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
73 － 16	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.4 底径　4.9 器高　5.1	底部で絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁端部付近で若干外反し開口する。12 世紀	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 17	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.2 底径　5.1 器高　4.2	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて若干内湾して立ち上がった後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。12 ～ 13 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①3mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
73 － 18	土師器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　10.6 底径　4.7 器高　4.7	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味して立ち上がった後に口縁端部付近で僅かに外反し開口する。12 ～ 13 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
74 － 1	土師器 皿	1 区 7Gr 地山直上層	口径　10.4 底径　4.1 器高　2.7	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾し立ち上がる。11 ～ 12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	完形。 胎土に籾が混ざっている。
74 － 2	土師器 皿	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.2 底径　4.5 器高　3.2	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾し立ち上がる。11 ～ 12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
74 － 3	土師器 皿	1 区 10・11Gr 地山直上層	口径　10.8 底径　4.4 器高　2.8	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀。	口縁部・体部 外面：回転ナデ 内面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
74 － 4	土師器 皿	1 区 7Gr 地山直上層	口径　9.7 底径　3.8 器高　2.8	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀。	口縁部・体部 外面：回転ナデ 内面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰白色	反転復元。
74 － 5	土師器 皿	1 区 10・11Gr 地山直上層	口径　11.0 底径　4.3 器高　2.9	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
74 － 6	土師器 皿	1 区 10・11Gr 地山直上層	口径　11.4 底径　5.2 器高　2.3	底部で強く絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
74 － 7	土師器 甕	1 区 7・8Gr 地山直上層	口径　17.5	口縁部は単純に外反し頸部は「く」字状に屈曲する。奈良時代。	口縁部 外面：ナデ 内面：ハケ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③にぶい褐色	反転復元。
75 － 1	須恵器 高坏	1 区 3Gr 地山直上層	不　明	坏部の器壁は内湾気味に立ち上がる。坏部と脚部は別々に作った後に接合する。奈良時代。	坏部・脚部 内外面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良　③灰色	反転復元。
75 － 2	須恵器 蓋	1 区 8Gr 3 層	口径　13.8 器高　1.3 （撮を除く）	口縁端部を下方に若干引き出す。高広Ⅳ期。	口縁部・甲部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 3	須恵器 蓋	1 区 8Gr 地山直上層	口径　12.6 器高　1.7 （撮を除く）	口縁端部を下方に若干引き出す。高広Ⅳ期。	口縁部・甲部 内外面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良　③灰色	反転復元。
75 － 4	須恵器 蓋	1 区 14Gr 地山直上層	口径　19.8 器高　1.4 （撮を除く）	口縁端部を下方に若干引き出す。撮の剥離痕が残る。高広Ⅳ B 期。	口縁部・甲部 内外面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含むが密 ②良好　③灰色	反転復元。 口縁部外面に自然釉がかかる。
75 － 5	須恵器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	口径　14.4 底径　10.1 器高　5.0	器壁は底部から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。高広Ⅲ B ～Ⅳ A 期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転ヘラ起し？ 内面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 6	須恵器 坏	1 区 5Gr 地山直上層	口径　12.0	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がる。高広Ⅲ B ～Ⅳ A 期？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 7	須恵器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	高台径 9.0	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。底面外縁に「ハ」字状に開く高台を貼り付ける。また、底部内面にはヘラによる複数の条溝が残る。高広Ⅲ B ～Ⅳ A 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転ヘラ起し後ナデ 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③灰色	反転復元。
75 － 8	須恵器 坏	1 区 12Gr 地山直上層	高台径 8.9	器壁は体部に向かい内湾して立ち上がる。また、底面外縁内寄りに低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ A 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含むが密 ②良好 ③灰色	
75 － 9	須恵器 坏	1 区 2Gr 地山直上層	高台径 10.2	器壁は体部に向かい若干内湾し立ち上がる。また、底面外縁やや内寄りに低い高台を貼り付ける。 高広Ⅲ B ～Ⅳ A 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転ヘラ起し後ナデ 内面：ナデ	① 17mm 以下の砂礫を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 10	須恵器 坏	1 区 2Gr 地山直上層	高台径 10.6	器壁は体部に向かい若干内湾し立ち上がる。また、底面外縁やや内寄りに低い高台を貼り付ける。高広Ⅲ B ～Ⅳ A 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②良好 ③灰色	反転復元。 底部外面に自然釉が付着している。
75 － 11	須恵器 坏	1 区 8Gr 地山直上層	高台径 10.8	底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ期。	底部 内外面：ナデ	① 3mm 以下の砂礫を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 12	須恵器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	高台径 11.2	器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③灰色	反転復元。
75 － 13	須恵器 坏	1 区 9Gr 地山直上層	高台径 8.8	器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 14	須恵器 坏	1 区 7Gr 地山直上層	高台径 6.1	器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。また、底面外縁やや内寄りに低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
75 － 15	須恵器 坏	1 区 5Gr 地山直上層	高台径 8.2	底面外縁に低い高台を貼り付ける。高広Ⅳ B 期。	底部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含むが密 ②普通 ③灰白色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
75 － 16	須恵器 坏	1 区 13Gr 地山直上層	口径　11.6 底径　5.5 器高　4.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。高広Ⅴ期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②やや不良 ③灰白色	反転復元。
75 － 17	須恵器 皿	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　12.5 底径　9.7 器高　2.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾し立ち上がる。高広Ⅳ A 期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③灰黄色	反転復元。
75 － 18	須恵器 皿	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.7 底径　9.1 器高　2.1	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。高広Ⅳ A 期？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の礫を含むが密 ②やや不良 ③灰白色	反転復元。
75 － 19	須恵器 皿	1 区 8Gr 3 層	底径　13.9	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。高広Ⅳ A 期。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	反転復元。
76 － 1	製塩土器	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.0	器壁は口縁端部で肥厚するが、下方では薄くなる。形態は砲弾状を呈すると考えられる。	口縁部・体部 内外面：オサエ後ナデ	① 8mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。 手捏。
76 － 2	製塩土器	1 区 7Gr 地山直上層	口径　11.2	口縁端部を丸く収める。形態は砲弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。 手捏。
76 － 3	製塩土器	1 区 7Gr 地山直上層	口径　10.8	口縁部はやや内湾する。端部はやや肥厚し丸くおさめる。形態は砲弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。 手捏。
76 － 4	製塩土器	1 区 7Gr 地山直上層	口径　9.2	口縁端部は肥厚し丸い。形態は砲弾状を呈すると考えられる。	口縁部 内外面：オサエ後ナデ	① 3mm 以下の砂礫を多く含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。 手捏。
76 － 5	土製品 土錘	1 区 7Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	長さ　9.7 幅　3.3 孔径　0.9	管状紡錘形土錘。	表面：オサエ後ナデ？	①砂粒をほとんど含まない ②普通 ③にぶい黄橙色	
76 － 6	土製品 土錘	1 区 7Gr 地山直上層	長さ　7.1 幅　1.9 孔径　0.5	管状紡錘形土錘。	表面：オサエ、タタキ後ナデ？	①砂粒をあまり含まない ②良 ③にぶい黄橙色	
76 － 7	土製品 土錘	1 区 7Gr 地山直上層	長さ　5.1 幅　1.6 孔径　0.4	管状紡錘形土錘。	表面：オサエ後ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	
77 － 1	陶磁器 碗？	1 区 13Gr 地山直上層	口径　11.5	器壁は底部付近から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず密 ②良好 ③釉：暗オリーブ灰色 地：にぶい赤褐色	反転復元。
77 － 2	陶磁器 碗	1 区 18Gr 地山直上層	不　明	器壁は体部で内湾するが口縁部付近でやや外反し開口する。16 世紀？	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③釉：黒褐色 地：にぶい黄橙色	反転復元。 瀬戸・美濃焼。
77 － 3	陶磁器 碗	1 区 10Gr 地山直上層	高台径　6.0	底面に低い高台を有し、二重円圏文と「天下太平」の文字を描く。16 世紀中頃～末頃。	底部 内外面：施釉	①砂粒を含まず緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	輸入品。
77 － 4	陶磁器 皿	1 区 18・19Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	高台径　3.5	底面に低い高台を削り出す。見込み部分中央付近に胎土目が 2 箇所あり。17 世紀。	体部 外面：一部施釉 内面：施釉 底部 内外面：施釉	①砂礫をあまり含まず密 ②良好 ③釉：灰オリーブ色　地：灰色	反転復元。 唐津焼。
84 － 1	弥生土器 甕	2 区 SK04	口径　16.7	草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：不明 内面：ケズリ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
84 － 2	土師器 坏	2 区 SK04 2 層	口径　11.9	器壁は底部付近から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。 84 － 3 と同一個体？
84 － 3	土師器 坏	2 区 SK04	口径　11.9	器壁は底部付近から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。 84 － 2 と同一個体？
84 － 4	土師器 坏	2 区 SK04 1 層	底径　4.7	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含むが密 ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
84 － 5	土師器 皿	2 区 SK04 1 層	口径　6.9 底径　3.6 器高　2.1	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて若干内湾し立ち上がる。13 世紀後半～14 世紀初頭？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③橙色	
84 － 6	土師器 皿	2 区 SK04 1 層	口径　7.5 底径　4.2 器高　1.8	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に開口する。14 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂礫を含むが密 ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
84 － 7	須恵器 蓋	2 区 SK04	不　明	やや凹面状に反る甲部外面に宝珠状摘を貼り付ける。高広Ⅳ B 期？	甲部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂礫を含むが密 ②良　③灰色	
86 － 1	土師器 皿	2 区 SK18	口径　6.8 底径　3.3 器高　2.1	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾し立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 3mm 大の礫を含むが ②良 ③浅黄橙色	反転復元。 外面の一部に灰釉がかかる。
86 － 2	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　7.4 底径　4.0 器高　2.0	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③橙色	ほぼ完形。
86 － 3	土師器 皿	2 区 SK18 4 ～ 7 層	口径　6.7 底径　3.5 器高　1.8	底部で若干絞られた器壁は体部にかけてやや内湾して立ち上がった後に口縁部で僅かに外反し開口する。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
86 － 4	土師器 皿	2 区 SK18 4 ～ 7 層	口径　6.8 底径　3.6 器高　2.0	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③橙色	ほぼ完形。 外面の一部に灰釉がかかる。
86 － 5	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　6.7 底径　3.3 器高　2.2	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③橙色	ほぼ完形。 外面の一部に灰釉がかかる。
86 － 6	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　7.2 底径　3.8 器高　2.3	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 10mm 大の礫を含む ②良好 ③橙色	ほぼ完形。 外面の一部に灰釉がかかる。
86 － 7	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　7.0 底径　3.5 器高　2.2	底部で若干絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③橙色	外面の一部に灰釉がかかる。
86 － 8	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　6.5 底径　3.3 器高　1.9	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③橙色	反転復元。 外面の一部に灰釉がかかる。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
86 － 9	土師器 皿	2 区 SK18 2 層	口径　7.3 底径　3.4 器高　2.0	底部で若干絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。 全面に煤が付着し黒色を呈する。
86 － 10	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　6.8 底径　3.9 器高　2.5	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾し立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
86 － 11	土師器 皿	2 区 SK18 4 層	口径　10.3 底径　4.0 器高　2.8	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③にぶい橙色	反転復元。
86 － 12	土師器 皿	2 区 SK18	口径　11.5 底径　4.2 器高　3.1	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ナデ消し 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
86 － 13	土師器 皿	2 区 SK18 3 層	口径　11.4 底径　5.0 器高　3.1	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
86 － 14	土師器 皿	2 区 SK18 7 層	口径　10.8 底径　4.0 器高　3.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③にぶい黄橙色	反転復元。
86 － 15	土師器 皿	2 区 SK18 5 層	口径　10.3 底径　4.9 器高　2.7	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③浅黄橙色	反転復元。
86 － 16	土師器 皿	2 区 SK18 4 層	口径　10.6 底径　4.3 器高　2.4	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③橙色	反転復元。
86 － 17	土師器 坏	2 区 SK18 4 層	口径　13.8 底径　5.3 器高　3.3	器壁は底部から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
89 － 1	土師器 皿	2 区 SK19 1 層	口径　12.9 底径　5.9 器高　3.3	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12 世紀？	口縁部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
92 － 1	土師器 坏 or 皿	2 区 SK21 1 層	底径　4.8	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい若干内湾して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③にぶい橙色	反転復元。
92 － 2	土師器 坏	2 区 SK21 1 層	口径　5.8 底径　3.0 器高　1.9	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけてやや内湾して立ち上がる。12 ～ 13 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
94 － 1	土師器 坏	2 区 SK22 1 層	底径　6.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。12 世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
94 － 2	土師器 坏	2 区 SK22 1 層	底径　6.3	底部で絞られた器壁は体部に向かい外反気味に立ち上がる。12 世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良好 ③にぶい橙色	反転復元。
94 － 3	土師器 坏	2 区 SK22 1 層	底径　5.2	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。13 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
94 － 4	土師器 坏	2 区 SK22 1 層	底径　4.7	底部をやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。12 ～ 13 世紀？	底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
94 － 5	土師器 皿	2 区 SK22 2 層	底径　3.9	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
94 － 6	土師器 皿	2 区 SK22 1 層	底径　3.4	底部を強く絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③橙色	反転復元。
96 － 1	土師器 坏	2 区 SK23 1 層	底径　5.4	器壁は底部から体部に向かい若干内湾し立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
96 － 2	土師器 坏	2 区 SK23 1 層	底径　5.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
96 － 3	土師器 坏	2 区 SK23 1 層	底径　4.3	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
96 － 4	土師器 坏	2 区 SK23 1 層	底径　4.5	器壁は底部から体部に向かい外反気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
96 － 5	土師器 坏	2 区 SK23 1 層	底径　5.2	底部をやや絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	
96 － 6	土師器 皿	2 区 SK23 1 層	底径　3.9	底部で絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	
96 － 7	土師器 皿	2 区 SK23	底径　4.5	底部でやや絞られた器壁は体部に向かいやや内湾した後に若干外反し立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
96 － 8	土師器 皿	2 区 SK23	底径　4.2	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
96 － 9	土師器 皿	2区 SK23	底径　3.1	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾し立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
96 － 10	土師器 皿	2区 SK23	底径　3.0	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾し立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まない ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
98 － 1	土師器 坏	2区 SK25	口径　11.0 底径　5.4 器高　3.2	器壁は底部から体部にかけてやや内湾して立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
98 － 2	土師器 坏	2区 SK25	底径　4.9	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	底面にスノコ状圧痕が残る。
98 － 3	土師器 坏？	2区 SK25	底径　4.7	器壁は底部から体部に向かい僅かに外反し立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
98 － 4	土師器 皿	2区 SK25	口径　12.9 底径　7.1 器高　2.2	器壁は頸部から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
98 － 5	土師器 皿	2区 SK25	口径　7.4 底径　4.1 器高　2.2	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
98 － 6	土師器 皿	2区 SK25	底径　3.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	
100 － 1	陶磁器 碗	2区 SK27	高台径 5.4	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。底面に高台を削り出す。畳付以外に釉薬を施す。	体部・底部 内外面：施釉	①密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色　地：灰色	肥前系。 貫入有り。
100 － 2	陶磁器 碗	2区 SK27	高台径 4.7	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。体部外面と高台外面に円圏文を描く。畳付以外に釉薬を施す。	体部・底部 内外面：施釉	①密 ②良好 ③釉：灰オリーブ色　地：灰色	反転復元。
100 － 3	陶磁器 碗	2区 SK27	高台径 4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。体部と高台の外面に染め付け有り。畳付以外は施釉。	体部・底部 内外面：施釉	①砂粒をあまり含まない ②良好 ③釉：オリーブ灰色　地：灰色	反転復元。 肥前系。 貫入有り。
100 － 4	陶磁器 碗	2区 SK27	高台径 4.2	底面に高台を削り出す。内面に同心円状の染め付けが2条有り。底部内面の一部と畳付以外に施釉。	底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	反転復元。 肥前系。
100 － 5	陶磁器 皿	2区 SK27	高台径 7.9	底面に高台を削り出す。内面に染め付け有り。底部内面の一部と畳付以外に施釉。18世紀。	底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	反転復元。 肥前系。
102 － 1	土師器 坏	2区 SK28 1層	底径　5.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
104 － 1	土師器 坏	2区 SK30 1層	底径　7.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
104 － 2	土師器 坏	2区 SK30 1層	底径　6.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
104 － 3	土師器 坏	2区 SK30 1層	底径　6.7	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ？	①2.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
104 － 4	土師器 坏	2区 SK30 1層	底径　5.5	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい若干外反して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
104 － 5	土師器 皿	2区 SK30	口径　7.7 底径　3.6 器高　2.2	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がった後に口縁部で僅かに外反し開口する。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
106 － 1	土師器 坏	2区 SK32 1層	底径　5.0	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
106 － 2	瓦質土器？ 火鉢？	2区 SK32 1層	不　明	口縁端部に平坦面を有する。	口縁部 内外面：ハケ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③黄灰色	器壁内部の胎土の色は器表付近と異なる。
108 － 1	土師器 坏	2区 SK05	底径　6.3	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
108 － 2	土師器 皿	2区 SK05	口径　8.1 底径　5.8 器高　2.3	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13世紀後半～14世紀初？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
108 － 3	土師器 皿	2区 SK05	口径　7.9 底径　5.5 器高　1.9	器壁で絞られた器壁は口縁部にかけて内湾して立ち上がる。13世紀後半～14世紀初？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：不明	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
108 － 4	土師器 坏	2区 SK06	底径　7.2	器壁は底部から体部に向かいやや内湾して立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ？ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③浅黄橙色	反転復元。
108 － 5	土師器 坏	2区 SK06 1層	底径　6.6	器壁は底部から体部に向かいやや外反気味に立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良好 ③浅黄橙色	反転復元。
108 － 6	土師器 坏	2区 SK08 2層	底径　6.6	底部をやや絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
108 － 7	土師器 甕	2区 SK12 1層	不　明	口縁部は単純に外反し、端部を丸くおさめる。古墳時代。	口縁部 外面：ナデ後ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
108 － 8	陶磁器 碗	2区 SK15 1層	高台形 4.1	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。内面に胎土目跡有り。底面に高台を削り出す。内面と外面の一部に施釉。17世紀前半。	体部 内外面：施釉 底部 外面：回転ナデ 内面：施釉	①05mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色 地：にぶい黄橙色	反転復元。 唐津焼。
108 － 9	土師器 坏	2区 SK16 2層	底径 4.3	器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
108 － 10	陶磁器 碗	2区 SK16 2層	口径 13.4	内面と外面の一部に施釉。	口縁部 内外面：施釉 体部 外面：回転ナデ 内面：施釉	①砂粒をほとんど含まず密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色 地：灰黄褐色	反転復元。 唐津系。
108 － 11	弥生土器 甕	2区 SK24	不　明	複合部の稜は水平方向に突出する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ？ 内面：ケズリ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
108 － 12	土師器 坏	2区 SK24	底径 5.2	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
108 － 13	土師器 坏？	2区 SK24	底径 5.0	底部をやや絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2.0mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
108 － 14	土師器 皿	2区 SK24	底径 3.1	底部を絞る。12～13世紀。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	底面にスノコ状圧痕が残る。
108 － 15	土師器 皿	2区 SK24	底径 3.9	底部をやや絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 1	土師器 坏	2区 P0901 1層	底径 5.1	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 2	土師器 皿	2区 P0901 1層	口径 11.4 底径 5.7 器高 2.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 3	土師器 皿	2区 P0901 1層	底径 3.9	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
111 － 4	土師器 坏	2区 P1004 2層	底径 5.9	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
111 － 5	土師器 坏	2区 P1004 2層	底径 5.9	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
111 － 6	土師器 皿	2区 P1004	底径 3.4	底部で僅かに絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
111 － 7	土師器 坏	2区 P1005 1層	底径　5.5	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ？	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 8	土師器 皿	2区 P1005 1層	底径　5.0	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
111 － 9	土師器 坏	2区 P1006	底径　7.6	器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 10	土師器 皿	2区 P1006	底径　5.1	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	
111 － 11	土師器 皿	2区 P1006	口径　7.4 底径　3.9 器高　2.5	器壁は底部から体部にかけて僅かに内湾して立ち上がった後に口縁部で若干外反し開口する。12世紀？	口縁部・ 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 12	土師器 坏	2区 P1007 1層	口径　11.9 底径　5.3 器高　3.9	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反し立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 13	土師器 坏	2区 P1007 1層	底径　6.8	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 14	土師器 皿	2区 P1007 1層	口径　7.1 底径　3.9 器高　2.5	底部で絞られた器壁は口縁部にかけて若干内湾し立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 15	土師器 坏	2区 P1008 1層	口径　10.9 底径　5.2 器高　3.2	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに外反して立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 16	土師器 坏	2区 P1008 1層	底径　4.8	器壁は底部から体部にかけてやや外反して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
111 － 17	土師器 皿	2区 P1008 1層	口径　7.0 底径　3.7 器高　2.4	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り？ 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 18	土師器 皿	2区 P1008	口径　7.3 底径　3.7 器高　2.2	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて内湾気に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
111 － 19	土師器 坏	2区 P1008 1層	底径　3.9	底部を強く絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
111 － 20	土師器 皿	2区 P1009	口径　11.2 底径　6.0 器高　2.9	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 体部 外面：回転糸切り 内面：不明	①砂粒をほとんど含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。 口縁端部欠損の可能性有り。
111 － 21	土師器 坏	2区 P1014 2層	底径　5.6	底部を強く絞る。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 22	土師器 坏	2区 P1014 3層	底径　5.1	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 23	陶磁器 皿	2区 P1014 1層	高台径　6.5	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がった後に口縁部で外反する。底面に高台を削り出す。底部の内外面以外に施釉。15世紀。	体部 内外面：施釉 底部 内外面：剥釉	①密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	反転復元。 龍泉窯。
111 － 24	土師器 皿	2区 P1017	口径　7.8 底径　3.8 器高　1.9	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。	口縁部・底部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 25	土師器 坏	2区 P1101 1層	底径　6.4	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2.5mm以下の砂礫を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
111 － 26	土師器 坏	2区 P1301 1層	底径　4.9	器壁は底部から体部に向かい僅かに外反して立ち上がる。12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	
111 － 27	土師器 坏	2区 P1301 1層	底径　6.0	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい僅かに内湾して立ち上がる。12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄橙色	
113 － 1	土師器 坏	2区 SD01 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　12.4 底径　4.4 器高　4.2	器壁は丸味を帯びた底部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。全面に赤色塗彩を施す。古墳時代後期？	体部 内外面：ナデ 底部 外面：ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③赤褐色	反転復元。
113 － 2	土師器 坏	2区 SD01	口径　14.8 底径　6.8 器高　2.8	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に大きく開く。10世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
113 － 3	土師器 坏	2区 SD01	底径　5.2	器壁は底部から体部にかけて若干内湾して立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
113 － 4	土師器 皿	2区 SD01 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　7.7 底径　3.5 器高　1.8	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。	口縁部・体部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
113 － 5	須恵器 皿？	2区 SD01 2層	底径　13.8	体部と底部の境に稜をなす。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③淡黄色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
113 － 6	陶磁器 擂鉢	2区 SD01 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	不　明	幅の広い口縁部はほぼ直立し、下端は少し下方に突出する。内面と口縁部やや下位まで施釉。15世紀。	口縁部 内外面：施釉	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密　②良好 ③釉・地：暗赤褐色	備前焼。
114 － 1	弥生土器 甕	2区 SD02 2層	不　明	口縁端部は上下に若干拡張し、端面に2条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
114 － 2	弥生土器 甕	2区 SD02 1層	口径　15.7	口縁部外面に3条の凹線文を巡らす。草田1期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰黄褐色	反転復元。
114 － 3	弥生土器 甕	2区 SD02	口径　14.0	口縁部外面に凹線状の浅い条溝を数条有する。草田1期。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②良　③にぶい黄橙色	反転復元。
114 － 4	弥生土器 甕	2区 SD02 1層	口径　29.4	口縁部外面に5条程度の浅い平行沈線を施す。草田2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 3mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
114 － 5	弥生土器 甕	2区 SD02 1層	底径　6.6	平底。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ハケ後ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ハケ 内面：オサエ	① 2mm 以下の砂礫をやや多く含む ②良 ③灰黄褐色	反転復元。
114 － 6	弥生土器 甕	2区 SD02 1層	底径　5.9	平底。松本Ⅳ期？	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ？ 底部 外面：ミガキ 内面：オサエ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
114 － 7	弥生土器 鉢？	2区 SD02 3層	口径　13.0	器壁は内湾気味に立ち上がり開口する。口縁部は器壁が肥厚する。弥生時代後期。	口縁部・体部 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 3mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良　③にぶい橙色	反転復元。 外面に煤が付着する。
114 － 8	須恵器 蓋	2区 SD02 1層	口径　12.5	口縁端部を下方に若干引き出す。高広ⅣB期？	口縁部・甲部 内外面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好　③灰色	反転復元。
115 － 1	弥生土器 甕	2区 SD04	口径　16.2	口縁端部は上下に拡張し、端面に3条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①4mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
115 － 2	弥生土器 注口土器	2区 SD04	径　2.9 孔径　1.2	端部は平坦面をなす。表面に赤色塗彩を施す。弥生時代後期。	注口部 外面：ミガキ	①1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③赤褐色　地：浅黄橙色	
115 － 3	土師器 皿	2区 SD04	底径　3.8	底部で絞られた器壁は体部に向かい若干内湾して立ち上がるようである。12世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切りナデ消し 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②やや良 ③浅黄橙色	
115 － 4	陶磁器 皿	2区 SD04 中層	口径　11.8	内面と口縁部外面に釉薬を施す。17世紀。	口縁部・体部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず密 ②良　③釉：オリーブ灰色 地：褐灰色	反転復元。 唐津焼。
117 － 1	土師器 坏	2区 SD05 1層	底径　6.3	平底。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②普通　③にぶい黄橙色	反転復元。
117 － 2	土師器 坏？	2区 SD05 4層	底径　4.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かいやや内湾して立ち上がるようである。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm 以下の砂粒をふくむ ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
117－3	土師器 皿	2区 SD05 1層	口径　9.1 底径　4.9 器高　1.9	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
117－4	土師器 皿	2区 SD05 2層	底径　3.5	底部で若干絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
117－5	土師器 皿	2区 SD05 3層	底径　3.4	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
119－1	土師器 壷	2区 SD06 3層	口径　20.4	口縁部はやや外傾して開口する。複合部の稜ははぼ水平方向に突出する。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ？ 内面：ケズリ	①3mm以下の砂礫を少し含む ②普通 ③浅黄橙色	
119－2	弥生土器 甕	2区 SD06 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　21.4	口縁部外面に数条の平行沈線を巡らす。草田2期。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
119－3	弥生土器 甕	2区 SD06 3層	口径　18.1	口縁部は外反して開口する。複合部の稜は水平方向に突出する。肩部外面に複線の波縄文を施す。草田5期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 底部 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
119－4	弥生土器 壷	2区 SD06 2層	底径　7.8	平底。器壁は底部から胴部に向かい内湾気味に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ？ 底部 内外面：ナデ？	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
119－5	弥生土器 壷？	2区 SD06 2層	底径　9.0	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 内外面：ミガキ 底部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
119－6	土師器 皿	2区 SD06	底径　4.9	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
120－1	弥生土器 広口壷	2区 SD07 2層	口径　30.0	口縁端部は下方に拡張する。内面に斜格子文と列点文、端面に斜格子文が施されている。松本Ⅲ-1期。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
120－2	弥生土器 甕	2区 SD07	口径　21.7	口縁部は単純に外反し、頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
120－3	弥生土器 甕	2区 SD07 2層	口径　19.9	口縁部は単純に外反し、口縁端部を上方へ若干引き出す。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
120－4	弥生土器 甕	2区 SD07 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　23.8	口縁部は単純に外反し、端部は肥厚する。松本Ⅲ-2期。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
120－5	弥生土器 甕	2区 SD07 3層	口径　20.8	口縁部外面に3条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
120 － 6	弥生土器 甕	2 区 SD07 3 層	口径　21.9	口縁端部は上下に拡張し、端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲し外面に突帯文を貼り付ける。胴部最大径付近の外面に連続刺突文を巡らす。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：オサエ後ナデ	①0.5mm 以下の砂粒をふくむ ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
120 － 7	土師器 甕	2 区 SD07	口径　14.4	口縁部はやや外傾して開口する。口縁端部に平坦面を有する。複合部の稜はほぼ水平方向に突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
120 － 8	土師器 皿	2 区 SD07 1 層	口径　11.7 底径　6.5 器高　3.2	底部でやや絞られた器壁は口縁部にかけて直線的に立ち上がる。内外面に赤色塗彩を施す。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
121 － 1	弥生土器 甕	2 区 6Gr	口径　22.4	口縁端部は若干肥厚し、端面に 1 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
121 － 2	弥生土器 甕	2 区 6Gr 地山直上層	口径　24.1	口縁端部は上下に僅かに拡張し、端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。肩部外面に突帯文を貼り付ける。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
121 － 3	弥生土器 甕	2 区 6Gr	口径　21.7	口縁部外面に 3 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
121 － 4	弥生土器 甕	2 区 4Gr 地山直上層	口径　17.2	口縁部外面に 3 条の浅い凹線文を巡らす。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
121 － 5	弥生土器 甕	2 区 9-10 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　13.7	口縁部外面に 5 条の平行沈線を巡らす。草田 2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
121 － 6	土師器 甕	2 区 13-15 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　22.5	口縁部は外傾して開口し、端部に平坦面を有する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
121 － 7	弥生土器 甕？	2 区 13-15 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	底径　7.5	平底。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
121 － 8	弥生土器 器台	2 区 地山直上層	脚端径 13.7	裾部外面に 4 条の平行沈線を巡らす。草田 2 期。	裾部 外面：ミガキ 内面：ケズリ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
121 － 9	弥生土器 高坏	2 区	脚端径 12.8	器壁は「ハ」字状に開き裾端に至る。弥生時代後期後葉。	脚部 外面：ハケ後ミガキ 内面：ナデ	①1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 1	土師器 坏	2 区 9Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	底径　4.7	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まない ②良 ③にぶい橙色	
122 － 2	土師器 坏	2 区 9Gr 地山直上層	底径　5.4	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 3	土師器 坏	2 区 9Gr 地山直上層	底径　6.0	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①2mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③浅黄橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
122 － 4	土師器 坏	2区 9Gr 地山直上層	底径　5.8	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。	体部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 5	土師器 皿	2区	口径　12.9 底径　5.2 器高　3.3	器壁は底部から口縁部にかけて外反気味に立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
122 － 6	土師器 皿	2区 9-10ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　7.9 底径　3.9 器高　2.3	底部で僅かに絞られた器壁は口縁部に向かい内湾気味に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 外面：ナデ 内面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 7	土師器 皿	2区 9-10ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　7.2 底径　4.0 器高　2.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 8	土師器 皿	2区 11Gr 地山直上層	口径　6.6 底径　3.5 器高　2.0	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 9	土師器 皿	2区 9-10ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　6.9 底径　3.4 器高　2.3	器壁は底部から口縁部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
122 － 10	土師器 皿	2区 9Gr 地山直上層	口径　5.7 底径　3.7 器高　1.2	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。12世紀？	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
122 － 11	土師器 皿	2区 2・3Gr 地山直上層	口径　7.4 底径　4.1 器高　1.8	底部でやや絞られた器壁は体部にかけて外反気味に立ち上がった後に口縁部で若干内湾して開口する。12世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
122 － 12	土師器 皿	2区 4Gr 地山直上層	口径　7.3 底径　3.9 器高　1.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がった後に口縁部で僅かに外反して開口する。13世紀後半？	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②普通 ③淡赤橙色	反転復元。
123 － 1	須恵器 壺	2区 9-10ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	高台径　8.6	底面外縁に「ハ」字状に開く低い高台を貼り付ける。器壁は底部から胴部に向かい内湾して立ち上がる。8世紀。	胴部下半 内外面：回転ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
123 － 2	陶磁器 皿	2区 11Gr 地山直上層	口径　12.9 高台径　4.2 器高　3.7	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がるが口縁部で外反して開口する。底面外縁に高台を削り出す。内面と口縁部外面に施釉する。	口縁部 内外面：施釉 体部 外面：回転ナデ 内面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③釉：黄灰色　地：にぶい橙色	反転復元。
123 － 3	陶磁器 皿	2区 9Gr 地山直上層	高台径　4.7	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。体部内外面と底部内面中央に施釉する。	体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：一部施釉	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③釉：暗赤褐色　地：灰黄色	唐津系。
123 － 4	陶磁器 皿	2区	高台径　4.1	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。体部外面の一部と内面に施釉する。17世紀。	体部 外面：ナデ後施釉 内面：施釉 底部 外面：ケズリ後ナデ 内面：施釉	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色 地：褐灰色	唐津焼。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
123 － 5	陶磁器 壷	2 区 9-10 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　7.8	口縁部は僅かに外傾し、端部に平坦面を持つ。口縁端面と端部内面には釉がかからない。口縁部外面に四方欅文、胴部外面に草文が描かれている。	口縁部・胴部 内外面：施釉	①砂粒をほとんど含まず緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	反転復元。 伊万里焼。
123 － 6	陶磁器 甕	2 区 4Gr 地山直上層	口径　32.0	口縁部は単純に外反し、端部は肥厚する。全面に施釉する。16 世紀。	口縁部・胴部上半 内外面：施釉	① 2mm 以下の砂礫を含むが密 ②良好 ③釉：灰赤色　地：灰色	反転復元。 備前焼。
123 － 7	陶磁器 焙烙	2 区	口径　29.3	口縁部はほぼ直立し、端部は丸くおさめる。口縁部端面から外面にかけて穿孔が施されている。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。 外面全面に煤が付着している。
123 － 8	陶磁器 焙烙	2 区	口径　29.0	口縁部はほぼ直立し、端部は丸くおさめる。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：ケズリ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。 外面全面に煤が付着している。
123 － 9	瓦質土器 不明 （口縁部）	2 区 9-10 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　34.0	口縁部は単純に外反し端面に平坦面を持つ。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 底部 外面：ナデ 内面：ハケ	①砂粒をあまり含まず密 ②良好 ③黄灰色	反転復元。
127 － 1	弥生土器 甕	3 区 SK01 1 層	口径　24.0 底径　5.7 器高　33.3	口縁部は単純に外反し頸部は「く」字状に屈曲する。胴部最大径付近の外面に列点文を施す。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ 胴部下半 内外面：ミガキ 底部 外面：ナデ？	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	ほぼ完形に復元できた。
127 － 2	弥生土器 甕	3 区 SK01 1 層	口径　22.5 （推定） 底径　5.5 器高　29.0 （推定）	口縁部は単純に外反し頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ 胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ？	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
127 － 3	弥生土器 甕	3 区 SK01 1 層	口径　17.0	口縁部は単純に外反し端部は若干肥厚する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
127 － 4	弥生土器 鉢	3 区 SK01 1 層	口径　22.9	口縁端部は肥厚し平坦面を持つ。端面に斜格子文、胴部外面に 5 条の凹線文と刻目文を施す。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
127 － 5	弥生土器 壷？	3 区 SK01 1 層	底径　7.4	平底。器壁は底部から胴部に向かい外反気味に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ハケ 内面：オサエ後ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
130 － 1	土師器 皿	3 区 SK05	口径　7.4 底径　4.6 器高　1.5	器壁は底部から口縁部にかけてやや内湾して立ち上がる。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
130 － 2	陶磁器 焙烙	3 区 SK05 1 層	口径　31.4	口縁部はほぼ直立し、端部は丸くおさめる。口縁部端面から外面にかけて穿孔が施されている。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：ケズリ 内面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。 外面全面に煤が付着している。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
130 － 3	陶磁器 擂鉢	3区 SK05 1層	口径　32.4 高台径 12.1 器高　13.9	口縁端部は外に折り玉縁状になる。内面に 15 状一単位の擂目を付ける。底面に低い高台を削り出す。近世。	口縁部・体部上半 内外面：回転ナデ 体部下半・底部 外面：ケズリ 内面：擂目	① 10mm 以下の砂礫を含む ②良 ③灰赤色	反転復元。 肥前系。
130 － 4	陶磁器 碗	3区 SK05 1層	高台径 4.6	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。畳付以外に施釉する。体部外面に網目文を染め付けている。17～18 世紀。	体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明オリーブ灰色 地：灰白色	反転復元。 肥前系。
130 － 5	陶磁器 皿	3区 SK05	口径　12.3 高台径 4.4 器高　3.2	器壁は底部から体部にかけて大きく開いて立ち上がり口縁部で内湾して開口する。底面に高台を削り出す。内面には染め付けが認められ、全面に施釉する。18 世紀。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	反転復元。 肥前系。
130 － 6	陶磁器 碗	3区 SK05 1層	口径　11.0 高台径 4.9 器高　8.0	器壁はほぼ直立して開口する。外面には松を含む風景描写の染め付けが認められる。畳付以外に施釉し、貫入が認められる。近世。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰色	反転復元。 肥前系。
130 － 7	陶磁器 碗	3区 SK05 1層	口径　10.8 高台径 4.4 器高　6.3	器壁は底部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がる。底面に高台を削り出す。口縁部内面に四方襷文描き、底部の内外面にも染め付けが認められる。畳付以外に施釉する。18 世紀後半頃。	口縁部・体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	反転復元。 伊万里系。
130 － 8	陶磁器 碗	3区 SK05 1層	口径　10.1	器壁は底部から口縁部にかけてやや内湾して立ち上がる。外面に文様を描く。全面に施釉し、貫入が認められる。	口縁部・体部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	反転復元。
130 － 9	陶磁器 不明 （底部）	3区 SK05 1層	高台径 5.6	器壁は底部から体部に向かい垂直に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。体部外面に施釉し、貫入が認められる。	体部 外面：施釉 内面：回転ナデ 底部 外面：ケズリ 内面：回転ナデ	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	反転復元。
130 － 10	陶磁器 碗	3区 SK05	高台径 4.8	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。底面に低い高台を削り出す。底部外面以外に施釉する。	体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①密 ②良好 ③釉：灰オリーブ色 地：にぶい黄褐色	反転復元。
130 － 11	陶磁器 皿	3区 SK05 1層	高台径 4.4	器壁は底部から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。底部外面以外に施釉するが、見込み部分は蛇の目状に釉薬を剥ぎ取る。	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：灰オリーブ色　灰白色	反転復元。
134 － 1	陶磁器 碗	3区 SK08	口径　9.8 高台径 4.8 器高　7.0	口縁端部は内に折り玉縁状になる。器壁は底部から口縁部にかけて垂直方向に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。外面に文様を染め付ける。体部外面から口縁部内面にかけて施釉し、貫入が認められる。	口縁部 内外面：施釉 体部 外面：施釉 内面：回転ナデ 底部 外面：ケズリ 内面：回転ナデ	①密 ②良好 ③釉：オリーブ灰色　地：灰色	反転復元。
136 － 1	弥生土器 甕	3区 SK17 1層	口径　18.6	口縁部は単純に外反し端部は若干肥厚する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
138 － 1	弥生土器 甕	3区 P0301 1層	口径　19.9	口縁部は単純に外反し端部を上方へ僅かに引き出す。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
138 － 2	陶磁器 鉢	3区 P0611 1層	口径　20.1 高台径 7.5 器高　7.9	口縁端部は外に折り玉縁状になる。器壁は底部から口縁部にかけて内湾して立ち上がる。底面にやや高い高台を削り出す。体部外面と内面に施釉する。	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	① 6mm 以下の砂礫を含む ②良好 ③釉：灰黄褐色　地：赤色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
138 － 3	陶磁器 甕	3 区 P0611 1 層	底径　17.5	平底。器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がるが肩部付近で内湾する。底部外面以外の全面に施釉する。	胴部 内外面：施釉 底部 外面：ナデ？ 内面：施釉	①密 ②良好 ③釉・地：暗赤灰色	反転復元。 肥前系。
138 － 4	平瓦	3 区 P0611 1 層	厚さ　1.7	－	表面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
140 － 1	弥生土器 甕	3 区 SD01 6 層	口径　19.9	口縁部は単純に外反し端部に平坦面を有する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ期。	口縁部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
140 － 2	弥生土器 甕	3 区 SD01 最下層	口径　19.9	口縁部は単純に外反し端部を上方にやや引き出す。端面に浅い凹線文を 1 条巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
140 － 3	弥生土器 甕	3 区 SD01 1 層	口径　18.0	口縁部は単純に外反する。端部は肥厚し平坦面を有する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通　③にぶい黄橙色	反転復元。
140 － 4	弥生土器 甕	3 区 SD01 1 層	口径　16.0	口縁部は単純に外反し端面に 2 条の浅い凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ？ 内面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
140 － 5	弥生土器 甕	3 区 SD01 6 層	底径　4.7	平底。器壁は底部から体部に向かい僅かに外反して立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ハケ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
140 － 6	弥生土器 鉢	3 区 SD01 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　11.8	口縁部は短く端部は肥厚し平坦面を有する。草田 1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
143 － 1	陶磁器 皿	3 区 SD02 1 層	高台径 8.6	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。底部外面以外に施釉する。17 世紀。	体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：灰黄色　地：にぶい褐色	反転復元。 肥前系。
143 － 2	陶磁器 蓋	3 区 SD02	口径　9.7 撮径　3.9 器高　3.0	器壁は甲部から口縁部にかけて若干内湾する。甲部に撮を削り出す。外面に鳳凰と桃、内面に雷文と桃が描かれている。全面に施釉する。	甲部・体部・口縁部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉・地：灰白色	ほぼ完形。 肥前系。
143 － 3	陶磁器 碗	3 区 SD02 1 層	高台径 6.5	器壁は底部から体部に向かい内湾気味に立ち上がる。底面にやや高い高台を削り出す。内外面に染め付け有り。畳付以外に施釉する。	体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	反転復元。 肥前系。
143 － 4	陶磁器 碗	3 区 SD02 1 層	高台径 5.4	器壁は底部から体部に向かいやや内湾して立ち上がる。底面に高台を削り出す。内外面に染め付け有り。畳付以外に施釉する。18 世紀以降。	体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	反転復元。 肥前系。
143 － 5	陶磁器 皿	3 区 SD02 1 層	不　明	器壁は底部から体部に向かいゆるく内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。内面に染め付け有り。畳付以外に施釉する。18 世紀以降。	体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	肥前系。
143 － 6	陶磁器 碗	3 区 SD02	不　明	器壁は底部から体部に向かい内湾するが、口縁部にかけては垂直に立ち上がる。体部外面に松文様の染め付け有り。全面に施釉する。18 世紀。	口縁部・体部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色　地：灰白色	肥前系。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
143 － 7	陶磁器 碗	3区 SD02 1層	口径　9.1 高台径 3.7 器高　7.5	器壁は底部から体部に向かい内湾するが、口縁部にかけてはほぼ垂直に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。底部外面以外に施釉する。	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	① 1.5mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③釉：オリーブ黒色　地：灰色	反転復元。
143 － 8	陶磁器 碗	3区 SD02 1層	高台径 4.7	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。底部外面以外に施釉する。	体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	① 1mm 以下の砂粒を含むが密 ②良好 ③釉：オリーブ黒色 地：にぶい黄橙色	反転復元。
143 － 9	陶磁器 擂鉢	3区 SD02 1層	不　明	口縁部は単純に外反する。端部は肥厚し平坦面を有する。全面に施釉する。	口縁部・体部 内外面：施釉	①密　②良好 ③釉：黒褐色 地：にぶい赤褐色	肥前系。
143 － 10	陶磁器 擂鉢	3区 SD02 1層	不　明	底面に低い高台を削り出す。全面に施釉する。	底部 内外面：施釉	①密　②良好 ③釉：暗赤灰色 地：にぶい橙色	
144 － 1	弥生土器 甕	3区 SD03 1層	口径　19.8	口縁部は単純に外反する。口縁端部は肥厚し端面に2条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄色	反転復元。
144 － 2	弥生土器 甕	3区 SD03 1層	口径　19.9	口縁端部を上下に若干引き出し、端面に1条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
144 － 3	弥生土器 甕	3区 SD03 3層	口径　18.9	口縁端部を上下に若干拡張し、端面に2条の凹線文を巡らせた後に連続刻目文を施す。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
144 － 4	弥生土器 甕？	3区 SD03 3層	底径　5.3	器壁はやや上げ底状の底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 内外面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
144 － 5	弥生土器 甕	3区 SD03 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	底径　5.9	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③黄灰褐色	反転復元。
144 － 6	弥生土器 甕	3区 SD03 1層	底径　6.2	器壁は上げ底の底部から胴部に向かい大きく外傾して立ち上がる。松本Ⅲ-2期。	胴部下半 外面：ミガキ？ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 2mm 以下の砂粒を多く含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
145 － 1	弥生土器 広口壷	3区 SD04 2層	口径　23.4	口縁端部は上下に若干拡張し端面に2条の凹線文を巡らす。また、内面にも5条程度の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
145 － 2	弥生土器 直口壷	3区 SD04 北3層	口径　11.7	口縁部はやや外傾して開口する。端部は左右に拡張し端面に3条の浅い凹線文を巡らす。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ	①まれに 2.5mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
145 － 3	弥生土器？ 甕	3区 SD04 北3層	口径　17.7	口縁部はやや外傾して開口し端部に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に突出するが鋭くない。草田6期？	口縁部・頸部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良　③浅黄橙色	反転復元。
145 － 4	弥生土器 甕	3区 SD04 2層	口径　21.8	口縁部は単純に外反する。端部を上方にやや引き出し端面に平坦面を有する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
145 － 5	弥生土器 甕	3区 SD04 1層	口径　29.4	口縁端部を上方にやや引き出し端面に連続刻目文を施す。頸部は「く」字状に屈曲し外面に指頭圧痕文帯を貼り付ける。松本Ⅳ-1。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
145 － 6	弥生土器 甕	3 区 SD04 3 層	口径　27.4	口縁端部は上方に拡張し端面に連続刻目文を施す。頸部は「く」字状に屈曲し外面に指頭圧痕文帯を貼り付ける。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
145 － 7	弥生土器 甕	3 区 SD04 3 層	口径　21.1	口縁端部は上下に拡張し端面に 3 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
145 － 8	弥生土器？ 甕	3 区 SD04 南 2 層	口径　20.6	口縁端部を横に引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田 6 期？	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
145 － 9	弥生土器 壷	3 区 SD04 1 層	底径　18.4	平底。器壁は底部から胴部にかけて直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 内外面：ハケ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
145 － 10	弥生土器 甕	3 区 SD04 1 層	底径　4.9	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	①まれに 5mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
145 － 11	弥生土器 高坏	3 区 SD04 1 層	口径　12.6	口縁端部は左右に拡張し端面に 2 条の凹線文を巡らす。外面にも 5 条の凹線文を施し、2 段の刻目文も認められる。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 坏部 内外面：ミガキ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
145 － 12	弥生土器 高坏	3 区 SD04	不　明	口縁端部の拡張はみられないが端面に 1 条の凹線文を巡らす。また、外面に 3 条の凹線文を巡らせた後に連続刻目文を施す。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 坏部 内外面：ハケ	①まれに 5mm 大の礫を含む ②やや良 ③浅黄橙色	
145 － 13	弥生土器 器台	3 区 SD04 南	不　明	口縁部は上下に拡張し端面に 4 条の凹線文と 5 段の連続刻目文を施す。弥生時代後期前半？	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
145 － 14	弥生土器 高坏	3 区 SD04 1 層	脚端径 11.0	器壁は「ハ」字状に広がり端部は丸くおさめる。外面に複数条の凹線文を巡らす。また、2 箇所に径 5mm 程度の穿孔が認められる。松本Ⅳ-1 期？	脚部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
148 － 1	弥生土器 広口壷	3 区 SD06 1 層	不　明	口縁端部は下方に拡張し、端面と内面に 3 条 1 組の沈線文を斜めに連続して施す。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	
148 － 2	弥生土器 壷	3 区 SD06 1 層	不　明	胴部上半外面に 2 段の波条文、1 段の沈線文、連続する斜め方向の沈線文が施される。松本Ⅲ-1 期。	胴部上半 外面：ハケ 内面：オサエ・ハケ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	
148 － 3	弥生土器 壷	3 区 SD06 1 層	不　明	胴部上半外面に 2 段の沈線文と連続する斜め方向の沈線文を施した後に、3 箇所に円形浮文を貼り付ける。松本Ⅲ-1	胴部上半 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	
148 － 4	弥生土器 甕	3 区 SD06 1 層	口径　20.8	口縁端部は肥厚し平坦面を有する。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
148 － 5	弥生土器 甕	3 区 SD06 1 層	底径　5.0	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
148 － 6	弥生土器 高坏	3 区 SD06 1 層	不　明	器壁は内湾して立ち上がり口縁部で外反して開口する。松本Ⅲ期。	口縁部・坏部 内外面：ミガキ	①まれに 5mm 大の礫を含む ②良 ③にぶい黄褐色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
148 － 7	弥生土器 脚台付鉢	3 区 SD06 1 層	脚端径 20.1	脚端部は肥厚し平坦面を有する。ヘラ状原体による沈線により施文する。二等辺三角形の透孔を有する。松本Ⅳ-2 期。	脚部 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
150 － 1	弥生土器 広口壷	3 区 SD07 1 層	口径　26.4	口縁端部は下方に拡張し、端面に斜格子文、内面に斜格子文と突帯文を施す。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
150 － 2	弥生土器 広口壷	3 区 SD07 1 層	不　明	口縁端部は上下に拡張し、端面に斜格子文、内面に斜格子文と刺突文、端面と内面の境に刻目文を施す。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	
150 － 3	弥生土器 甕	3 区 SD07 2 層	口径　24.9	口縁部は単純に外反し端部を上方に若干引き出す。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を少し含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
150 － 4	弥生土器 甕	3 区 SD07 1 層	不　明	口縁部は単純に外反し端部を上方に若干引き出す。頸部外面に突帯文を貼り付ける。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を僅かに含む ②普通 ③浅黄橙色	
150 － 5	弥生土器 甕	3 区 SD07 2 層	口径　15.9	口縁端部は上下にやや拡張し端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
150 － 6	弥生土器 甕	3 区 SD07	底径　7.2	平底。器壁は底部から体部に向かい僅かに外反して立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ケズリ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
151 － 1	弥生土器 甕	3 区 17-18 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　15.5	口縁部は単純に外反し端部を上方に僅かに引き出す。胴部最大径付近の外面に列点文を巡らす。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 内外面：ハケ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
151 － 2	弥生土器 甕	3 区 17Gr 地山直上層	口径　16.4	口縁部は単純に外反し端部を上方にやや引き出す。頸部の屈曲はゆるい。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ後ミガキ 内面：ハケ後ナデ、オサエ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
151 － 3	弥生土器 甕	3 区 18-19 ﾗｲﾝ ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　21.0	口縁端部を上方にやや引き出し端面に 1 条の凹線文を巡らす。頸部はゆるく屈曲する。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
151 － 4	弥生土器 甕	3 区 17Gr 地山直上層	底径　4.1	平底。器壁は底部から体部に向かい僅かに外反して立ち上がるようである。弥生時代中期後半。	胴部下半・底部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
151 － 5	陶磁器？ 鉢？ （口縁部）	3 区 12Gr 造成土	口径　19.7	端部はやや肥厚し端面に平坦面を有する。	口縁部 内外面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③橙色	反転復元。
151 － 6	陶磁器 壷	3 区 12Gr 撹乱	口径　1.8 底径　3.5 器高　8.8	やや長い頸を有する。底部外面以外に施釉する。	口縁部・頸部・胴部 内外面：施釉 底部 外面：回転糸切り 内面：施釉	①砂粒をあまり含まない ②良好 ③釉：暗赤褐色　地：橙色	完形。
159 － 1	弥生土器 広口壷	4 区 SK05 2 層	口径　24.0	口縁端部は下方に拡張し端部に平坦面を有する。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 外面：ハケ後ナデ 内面：ハケ 頸部 内外面：ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
159 － 2	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	口径　21.9	口縁端部は上下に拡張し端面に 3 条の凹線文を巡らす。また、胴部最大径付近の外面に列点文を施す。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ（上半） ：ミガキ（下半） 内面：ケズリ後ミガキ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
159 － 3	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	口径　17.5	口縁端部を上下に若干引き出し端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ミガキ 内面：ハケ？	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
159 － 4	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	口径　19.7	口縁端部は上下に拡張し端面に 2 条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ？ 内面：オサエ後ハケ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
159 － 5	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	口径　32.4	口縁端部は上下に拡張し端面に 3 条の浅い凹線文を巡らす。頸部外面に突帯文を貼り付ける。松本Ⅳ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ナデ？	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。 159-6 と同一個体の可能性有り。
159 － 6	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	口径　24.5	口縁部は上下に拡張し端面に 3 条の浅い凹線文を施す。頸部外面に突帯文を貼り付ける。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。 159-5 と同一個体の可能性有り。
159 － 7	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	底径　4.2	平底。器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ？ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
159 － 8	弥生土器 甕	4 区 SK05 1 層	底径　5.3	平底。器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期後半。	胴部下半 内外面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
163 － 1	土師器 坏	4 区 SK10 上層	口径　9.5 底径　6.3 器高　2.2	器壁は底部から口縁部にかけてやや外反して立ち上がる。8 ～ 9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を少し含む ②やや不良 ③灰黄色	反転復元。
165 － 1	弥生土器 甕	4 区 SK11 1 層	底径　4.8	平底。器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期。	胴部下半 内外面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。
168 － 1	弥生土器 不明 （底部）	4 区 SK17 1 層	底径　5.6	低く器肉の厚い台部。	底部 外面：ナデ 内面：ナデ？	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや不良 ③にぶい橙色	反転復元。
170 － 1	弥生土器 甕	4 区 SK19 1 層	口径　17.3	口縁端部を上方にやや引き出す。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
170 － 2	土師器 坏	4 区 SK19 1 層	口径　9.8 底径　6.4 器高　2.7	器壁は底部から口縁部にかけて外反して立ち上がる。8 ～ 9 世紀。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③にぶい黄橙色	完形。
172 － 1	弥生土器 広口壷	4 区 SK28 1 層	口径　34.3	口縁端部は下方に拡張し、端面に 3 条の凹線文と円形浮文を施す。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 2.5mm 以下の砂礫を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
172 － 2	須恵器 坏	4 区 SK28 2 層	口径　14.6 高台径 8.4 器高　6.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がった後に口縁部付近でやや外反して開口する。底面外縁やや内寄りに低い高台を貼り付ける。9 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
174 － 1	弥生土器 甕	4 区 SK34	底径　5.8	平底。器壁は底部から胴部に向かい僅かに外反して立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ハケ？ 底部 外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③黄灰色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
176 － 1	陶磁器 皿	4区 SK37 2層	高台径 4.4	器壁は底部から体部に向かい若干内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。内面に圏線状の染め付け有り。内面に施釉するが部分的に掻き取る。17 世紀？	体部 外面：回転ナデ 内面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明緑灰色 地：にぶい黄橙色	反転復元。 伊万里焼。
176 － 2	陶磁器 碗	4区 SK37 2層	高台径 2.7	器壁は底部から体部に向かい内湾して立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。畳付以外に施釉する。体部と高台の外面に輪状の染め付け有り。	体部・底部 内外面：施釉	①緻密 ②良好 ③釉：明オリーブ灰色 地：灰白色	反転復元。 肥前系。
178 － 1	弥生土器 甕	4区 SK38 1層	口径 15.8	口縁端部は上下にやや拡張し端面に2条の浅い凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ？	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
180 － 1	弥生土器 壷？	4区 P0907 1層	底径 4.2	僅かに上げ底状を呈する。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ？ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 2mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
180 － 2	弥生土器 甕	4区 P1011 1層	底径 5.0	僅かに上げ底状を呈する。器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ？ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
180 － 3	弥生土器 壷？	4区 P1108 2層	底径 11.0	平底。器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期後半。	底部 外面：ナデ 内面：オサエ	①2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
180 － 4	弥生土器 甕	4区 P1804 1層	口径 19.6	口縁端部を上方にやや引き出し、端面に連続刻目文を施す。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ後ナデ 内面：ハケ	①1mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい橙色	反転復元。
182 － 1	弥生土器 高坏	4区 SD01 1層	脚端径 10.0	脚端部は肥厚し、端面に2条の凹線文を巡らす。また、外面にも5条以上の凹線文が認められる。松本Ⅳ-2期。	脚部 外面：ナデ 内面：ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
184 － 1	土師器 坏	4区 SD11 1層	底径 5.4	底部内面中央に「古」と解される墨書有り。中世。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 2.5mm 大の礫を含むが密 ②良　③にぶい橙色	
184 － 2	陶磁器 碗	4区 SD11 1層	脚端径 5.0	器壁は底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がる。底面に低い高台を削り出す。畳付以外に施釉する。	体部・底部 内外面：施釉	①密　②良好 ③釉：にぶい黄褐色 地：浅黄橙色	反転復元。
185 － 1	弥生土器 甕	4区 16Gr 地山直上層	口径 16.2	口縁端部は上下に拡張し端面に3条の凹線文と連続刻目文を施す。頸部外面に突帯文を貼り付ける。松本Ⅳ-2期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ後ナデ？	①0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
185 － 2	弥生土器 甕	4区 16Gr 地山直上層	底径 5.2	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	①2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
185 － 3	弥生土器 甕	4区 16Gr	底径 4.5	僅かに上げ底状を呈する。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
185 － 4	弥生土器 高坏	4区 15・16Gr	脚端径 12.0	脚端部は肥厚し端面に波状文を施す。また、外面には4条以上の浅い凹線文が認められる。松本Ⅳ期。	脚部 内外面：ナデ	①1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
185 － 5	須恵器 壺？	4 区 9Gr 地山直上層	不　明	大きく外傾する口縁部と考えられる。端部に平坦面を有し、外面に波状文が認められる。	口縁部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含むが密 ②良 ③灰色	
192 － 1	弥生土器 壺	5 区 SK03 1 層	口径　11.9	口縁端部は肥厚し端面に平坦面を有する。頸部は弓状に湾曲する。松本Ⅲ-1 期？	口縁部・頸部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③灰黄褐色	反転復元。
192 － 2	弥生土器 甕	5 区 SK03 1 層	底径　6.4	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ 内面：ハケ 底部 外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
192 － 3	土師器 甕	5 区 SK03 1 層	口径　19.2	口縁部は単純に外反する。器壁は底部から頸部にかけて内湾する。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ナデ 内面：ケズリ	① 2.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②普通 ③橙色	反転復元。 外面全面に煤が付着している。
192 － 4	土師器 坏	5 区 SK03 3 層	口径　13.5 高台径 7.5 器高　5.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。底面外縁に低い高台を貼り付ける。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
192 － 5	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　10.4 高台径 5.8 器高　4.4	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底面外縁に低い高台を貼り付ける。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③橙色	
192 － 6	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　10.9 底径　6.6 器高　3.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③浅黄橙色	ほぼ完形。 底面にスノコ状圧痕が残る。
192 － 7	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　10.8 底径　6.1 器高　3.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	①まれに 3mm 大の礫を含む ②やや良 ③橙色	ほぼ完形。 底面にスノコ状圧痕が残る。
192 － 8	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　12.6 底径　6.1 器高　4.5	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③にぶい橙色	
192 － 9	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　12.8 底径　7.3 器高　5.3	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がるが、口縁端部付近で僅かに外反し開口する。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 3mm 以下の砂礫を少し含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
192 － 10	土師器 坏	5 区 SK03 1・2 層	口径　14.5 底径　8.3 器高　4.9	器壁は底部から体部にかけて直線的に立ち上がるが、口縁端部付近で僅かに外反し開口する。9 世紀。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
192 － 11	土師器 坏	5 区 SK03 2 層	口径　11.5 底径　5.6 器高　4.0	底部でやや絞られた器壁は口縁部に向かい直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。9 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①まれに 4mm 大の礫を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
192 － 12	土師器 皿	5 区 SK03 2 層	口径　13.7 底径　8.9 器高　1.6	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。9 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ 内面：ナデ	①まれに 5mm 大の礫を含む ②やや良 ③橙色	

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
192 － 13	須恵器 坏	5 区 SK03 3 層	口径　10.8 底径　6.9 器高　3.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、先細りの断面を呈す。高広Ⅴ期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③黄灰色	ほぼ完形。 内外面に「十」字状の火襷が残る。
195 － 1	弥生土器 壷	5 区 SK01 1 層	口径　16.8	口縁部は外反して開口し、端部に 1 条の沈線を巡らす。頸部外面に 8 条のヘラ描き直線文を施す。松本Ⅰ-3 ～ Ⅰ-4 期。	口縁部 外面：ナデ 内面：ミガキ 頸部 外面：ハケ 内面：ミガキ	① 3mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
196 － 1	弥生土器 壷？	5 区 SK02 1 層	底径　7.1	平底。器壁は底部から胴部に向かい直線的に立ち上がるようである。弥生時代前期。	胴部下半 内外面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 4mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③橙色	反転復元。
196 － 2	弥生土器 高坏	5 区 SK02 1 層	脚端径 12.9	器壁は裾部に向かい「ハ」字状に開き、端部を丸くおさめる。弥生時代後期。	脚部 外面：ミガキ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
198 － 1	土師器 坏	5 区 SK05 3 層	高台径 7.2	底面外縁に低い高台を貼り付ける。9 世紀？	底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
200 － 1	弥生土器 甕	5 区 SK08 1 層	口径　13.2	口縁部は単純に外反し端部を丸くおさめる。頸部の屈曲はゆるい。松本Ⅲ-1 期。	口縁部・胴部上半 内外面：ナデ	① 3mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良　③橙色	反転復元。
200 － 2	弥生土器 甕	5 区 SK08 2 層	口径　27.9	口縁端部を上方にやや引き出し、端面に連続刻目文を施す。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
202 － 1	弥生土器 甕	5 区 SK16 2 層	不　明	口縁部は短く外反して開口する。頸部はゆるく屈曲する。胴部はあまり張り出さない。弥生時代前期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 3mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③にぶい橙色	
204 － 1	弥生土器 広口壷	5 区 P0202 1 層	口径　29.3	口縁端部は上下に若干拡張し端面に 3 条の凹線文を巡らす。また、口縁部内面に 6 条の凹線文を巡らし、2 箇所に円形浮文を貼り付け、他面との境に連続刻目文を施す。頸部外面に 4 条の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 頸部 外面：ハケ 内面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③浅黄橙色	反転復元。
205 － 1	弥生土器 広口壷	5 区 SD09 1 層	口径　24.5	口縁端部は下方に拡張し端面に 3 条の凹線文を巡らす。口縁部内面に連続刻目文、波状文、列点文を施す。松本Ⅳ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい褐色	反転復元。
205 － 2	弥生土器 壷	5 区 SD09 1 層	底径　7.4	平底。器壁は底部から胴部にかけて僅かに内湾して立ち上がる。弥生時代前期？	胴部下半 外面：ナデ 内面：ミガキ 底部 外面：ナデ	① 3.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
205 － 3	土師器 甕	5 区 SD09 1 層	口径　15.7	口縁端部を外方に折り平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田 7 期。	口縁部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
205 － 4	土師器 碗？	5 区 SD09	口径　13.7	器壁は体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がり、端部は丸くおさめる。内外面に赤色塗彩を施す。古墳時代初頭？	口縁部・体部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良　③にぶい赤褐色	反転復元。
205 － 5	土師器 坏	5 区 SD09 1 層	底径　5.6	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい内湾気味に立ち上がるようである。中世。	底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
205 － 6	土師器 坏	5 区 SD09 1 層	底径　4.1	底部で強く絞られた器壁は体部に向かい直線的に立ち上がるようである。中世。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を少し含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
205 － 7	土師器 坏	5 区 SD09 1 層	底径　5.3	器壁は底部から体部に向かい直線的に立ち上がるようである。中世。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
205 － 8	須恵器 坏	5 区 SD09 1 層	口径　12.0	体部の器壁は内湾する。口辺短く内傾し開口する。高広Ⅱ-A 期。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：ヘラ切り後ナデ 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰色	反転復元。
207 － 1	弥生土器 甕	5 区 SD15	口径　26.8	口縁端部は上方に若干拡張し端面に連続刻目文を施す。頸部外面に突帯文を貼り付ける。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅲ-2 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
207 － 2	弥生土器 低脚坏	5 区 SD15	脚端径 6.3	脚部は「ハ」字状に大きく開き、2 箇所に孔を穿つ。弥生時代後期。	脚部 内外面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良　③にぶい黄橙色	反転復元。
207 － 3	陶磁器 焙烙	5 区 SD15	口径　30.0	口縁部はやや内傾し、端部は丸くおさめる。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：ケズリ 内面：ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。 外面全面に煤が付着している。
208 － 1	弥生土器 甕	5 区 2Gr 地山直上層	口径　14.3	口縁部は単純に外反する。頸部は「く」字状にゆるく屈曲する。松本Ⅲ-1 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内外面：ハケ後ナデ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
208 － 2	須恵器 不明	5 区 9Gr	不　明	上方部は筒状を呈する。下方部は器壁が開く。上方部と下方部は別々に成形された後に接合される。	表面：ナデ 内面：絞り	①砂粒をほとんど含まず密 ②良 ③灰色	
213 － 1	土師器 坏	6 区 SE01 下層	口径　12.8 底径　6.0 器高　4.5	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がった後に口縁部で若干外反して開口する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	ほぼ完形。
213 － 2	土師器 坏	6 区 SE01 中・下層	口径　12.3 底径　4.9 器高　3.9	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がる。口縁部は先細りの断面を呈する。12 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	ほぼ完形。
213 － 3	土師器 坏	6 区 SE01 1 層	底径　3.7	底部でやや絞られた器壁は体部に向かい僅かに内湾して立ち上がる。12 世紀？	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
213 － 4	須恵器 坏	6 区 SE01	口径　10.4	口辺は短く内傾し開口する。高広Ⅱ-A 期。	口縁部 内外面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まず密 ②良 ③灰白色	反転復元。
213 － 5	須恵器 高坏	6 区 SE01 2 層	不　明	坏部は大きく開くようである。脚部に透し有り。古墳時代後期～終末頃？	脚部 内外面：回転ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。
215 － 1	弥生土器 甕	6 区 SK04 1 層	底径　7.0	胴部最大径付近の外面に 2 段の列点文を巡らす。弥生時代中期後葉。	胴部 外面：ハケ後ミガキ 内面：ハケ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	① 1.5mm 以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
217 － 1	須恵器 蓋	6 区 SK06 3 層	不　明	甲部外面に広い平坦面を有し撮が剥離した痕跡が残る。口縁部との境に稜をなす。高広Ⅳ-B 期？	甲部 外面：回転ナデ 内面：ナデ 口縁部 内外面：回転ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
219 － 1	土師器 甕	6区 SK09 1層	口径　28.0	口縁部は単純に外反し頸部は「く」字状に屈曲する。	口縁部 外面：ナデ 内面：ハケ 胴部上半 外面：ハケ後ナデ 内面：ケズリ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
221 － 1	須恵器 坏	6区 SK19 中層	底径　7.1	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾して立ち上がるようである。中世。	体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
223 － 1	弥生土器 甕？	6区 SD02 3層	口径　18.2	口縁端部は上方に拡張し端面に3条の凹線文を巡らす。また、内面にも3条程度の凹線文を巡らす。松本Ⅳ期。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
223 － 2	弥生土器 広口壷	6区 SD02 3層	不　明	口縁端部は肥厚し端面に3条の凹線文を巡らす。また、内面にも4以上の凹線文を巡らす。松本Ⅳ-1期。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰白色	
223 － 3	土師器？ 甕	6区 SD02 1層	口径　21.4	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
223 － 4	弥生土器 甕？	6区 SD02 1層	底径　4.7	平底。	底部 内外面：ナデ	①まれに3mm大の礫を含む ②良 ③浅黄橙色	
223 － 5	土師器 皿	6区 SD02 2層	口径　8.9 底径　6.1 器高　1.9	器壁は口縁部で若干内湾し開口する。中世。	口縁部・体部 内外面：ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
223 － 6	土師器 皿	6区 SD02 5層	口径　9.8 底径　7.0 器高　1.8	器壁は口縁部で若干内湾し開口する。中世。	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：回転ナデ	①砂粒をほとんど含まず密 ②やや良 ③にぶい橙色	反転復元。
223 － 7	陶磁器 皿	6区 SD02 5層	高台径 14.9	底面に高台を削り出す。内面に施釉する。近世。	体部・底部 外面：回転ナデ 内面：施釉	①密 ②良好　③釉：褐灰色 地：にぶい黄橙色	反転復元。 肥前系。
223 － 8	陶磁器 擂鉢	6区 SD02 1層	口径　26.8	口縁端部を丸くおさめる。体部内面に10数条1単位の擂目を入れる。近世。	口縁部・体部 内外面：施釉	①1mm以下の砂粒を含む ②良好 ③釉：灰赤色　地：灰色	反転復元。 肥前系。
224 － 1	陶磁器 碗	6区 SD07 下層	口径　11.1 高台径 4.7 器高　7.3	器壁は底部から体部にかけて内湾して立ち上がるが、口縁端部は外側に若干引き出す。底面に高台を削り出す。底部外面以外に施釉する。17世紀？	口縁部・体部 内外面：施釉 底部 外面：ケズリ 内面：施釉	①密 ②良好 ③釉：灰オリーブ色 地：灰黄色	反転復元。 唐津系。
226 － 1	弥生土器 壷	6区 SD08 1層	底径　10.4	平底。器壁は底部から胴部に向かい大きく開いて立ち上がる。弥生時代中期後半。	胴部下半 外面：ミガキ？ 内面：ナデ 底部 外面：ナデ 内面：オサエ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
226 － 2	弥生土器 甕	6区 SD08 1層	口径　19.8	口縁部外面に6条程度の平行沈線を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。草田3期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
226 － 3	弥生土器 甕	6区 SD08 1層	口径　14.2	口縁部外面に10条程度の平行沈線を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。草田3～4期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄褐色	反転復元。
226 － 4	弥生土器 甕	6区 SD08 3層	口径　19.7	口縁部外面に11条程度の浅い平行沈線を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。草田3期。	口縁部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒をやや多く含む ②やや良　③にぶい黄褐色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
226 － 5	弥生土器 甕	6区 SD08 1層	口径　18.1	複合部の稜は斜め下方に突出する。草田5期。	口縁部 内外面：ナデ	①2mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰黄褐色	反転復元。
226 － 6	弥生土器 甕	6区 SD08 3層	口径　17.6	複合部の稜は斜め下方に突出する。草田5期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
226 － 7	土師器？ 甕	6区 SD08 1層	口径　14.2	複合部の稜は水平方向に突出する。肩部外面に8条程度の平行沈線と連続刺突文を施す。草田6期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ナデ 内面：オサエ、ケズリ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
226 － 8	土師器？ 甕	6区 SD08 1層	口径　18.2	複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。胴部最大径やや上位の外面に4条1単位の波状文を巡らす。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
226 － 9	土師器？ 甕	6区 SD08 1層	口径　15.8	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に突出する。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ケズリ	①2.5mm以下の砂礫を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
226 － 10	土師器 甕	6区 SD08 1層	口径　23.2	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
226 － 11	弥生土器 高坏	6区 SD08 1層	口径　25.4	器壁は体部では僅かに内湾するが口縁部では外反し開口する。草田5期？	坏部 内外面：ミガキ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。226-12と同一個体の可能性有り。
226 － 12	弥生土器 高坏	6区 SD08 1層	不　明	円盤充填法により作られる。器壁は裾部に向かい「ハ」字状に開く。草田5期。	脚部 外面：ミガキ 内面：ケズリ	①1mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	内面は焼成時に黒色化している。226-11と同一個体の可能性有り。
226 － 13	土師器？ 鼓形器台	6区 SD08 1層	不　明	受部の器壁は直線的に「ハ」字状に開く。稜の突出は鋭さを欠く。草田6期？	受部 内外面：ナデ 脚部 内面：ケズリ	①3mm以下の砂礫を含む ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
226 － 14	土師器？ 鼓形器台	6区 SD08 1層	口径　25.1	受部の器壁は体部で直線的に立ち上がるが口縁部では僅かに外反し開口する。稜の突出は鋭さをやや欠く。草田6期？	受部 内外面：ナデ	①1.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③浅黄橙色	反転復元。
228 － 1	弥生土器 甕	6区 SD10 3層	口径　20.0	口縁端部は上下に僅かに拡張し端面に平坦面を有する。松本Ⅳ-1期？	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ 内面：ナデ	①1mm以下の砂粒を含む ②普通 ③灰白色	反転復元。
228 － 2	弥生土器 甕	6区 SD10 2層	口径　14.0	口縁端部は上方に拡張し端面に2条の凹線文を巡らす。頸部は「く」字状に屈曲する。松本Ⅳ-1期。	口縁部・胴部上半 内外面：ナデ	①0.5mm以下の砂粒を含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
228 － 3	弥生土器 甕	6区 SD10 3層	口径　21.8	複合部の稜は斜め下方に突出する。草田5期。	口縁部 内外面：ナデ	①1mm以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③灰白色	反転復元。
228 － 4	土師器？ 甕	6区 SD10 3層	不　明	複合部の良は水平方向に突出する。草田6期。	口縁部 内外面：ナデ	①まれに3.5mm大の礫を含む ②やや良 ③灰白色	
228 － 5	土師器 甕	6区 SD10 1層	口径　14.3	口縁端部に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田6～7期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ 内面：ケズリ	①2mm以下の砂粒を含む ②普通 ③にぶい黄橙色	反転復元。

挿図番号	器　種	出土地点	法量(cm)	形態・文様の特徴	手法の特徴	①胎土　②焼成　③色調（地）	備　考
228 － 6	土師器 甕	6 区 SD10 1 層	口径　12.4	口縁部は短く端部に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。肩部外面に 1 条の浅い緩やかな波状文を施す。胴部は球状を呈する。草田 7 期？	口縁部 内外面：ナデ 胴部 外面：ハケ 内面：ケズリ	① 3.5mm 以下の砂礫をやや多く含む ②やや良 ③浅黄橙色	
229 － 1	弥生土器 甕	6 区 12Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　13.7	複合部の稜は水平方向に突出する。草田 5 ～ 6 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 内面：ケズリ	①砂粒をあまり含まない ②普通 ③浅黄橙色	反転復元。
229 － 2	土師器 甕	6 区 14Gr 地山直上層	口径　15.8	口縁端部に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ	① 1.5mm 以下の砂粒をやや多く含む ②普通　③浅黄橙色	反転復元。
229 － 3	土師器 甕	6 区 14Gr 地山直上層	口径　13.9	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ 胴部上半 外面：ハケ？ 内面：ケズリ	① 1mm 以下の砂粒を含む ②やや稜 ③浅黄橙色	反転復元。
229 － 4	土師器 甕	6 区 11・12Gr ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	口径　20.4	口縁端部を外側に若干引き出し端面に平坦面を有する。複合部の稜は水平方向に鋭く突出する。草田 6 ～ 7 期。	口縁部 内外面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③にぶい黄橙色	反転復元。
229 － 5	土師器？ 鼓形器台	6 区 14Gr 地山直上屑	口径　23.3	受部の器壁は体部では直線的に立ち上がるが口縁部では外反し開口する。稜は鋭く突出する。草田 6 期。	受部 外面：ナデ 内面：ミガキ	① 2mm 以下の砂粒を含む ②良 ③にぶい橙色	反転復元。
229 － 6	土師器 坏	6 区 9Gr 地山直上層	口径　12.8 底径　8.9 器高　3.7	器壁は底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底部外面以外に赤色塗彩を施す。9 世紀？	口縁部・体部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り後ナデ？ 内面：回転ナデ	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③橙色	反転復元。
229 － 7	土師器 皿	6 区 8Gr	高台径 11.4	底面外縁に低い高台を貼り付ける。底部全面に赤色塗彩を施す。9 世紀前半？	底部 内外面：ナデ？	①砂粒をほとんど含まない ②やや良 ③橙色	反転復元。
229 － 8	土師器 坏 （台部）	6 区 9Gr 地山直上層	台径　3.6	坏底部内面中央に径 12mm 程度の窪みを有する。11 世紀？	坏部 内面：ナデ 台部 底面：回転糸切り	①砂粒をあまり含まない ②やや良 ③浅黄橙色	
229 － 9	須恵器 高坏	6 区 14Gr 地山直上層	不　明	脚部に貫通しない切り込み状の透しが対に認められる。古墳時代終末。	坏部・脚部 内外面：ナデ	① 0.5mm 以下の砂粒を含む ②良 ③灰色	
229 － 10	須恵器 坏	6 区 7Gr	底径　6.6	器壁は底部から体部に向かい僅かに内湾して立ち上がる。10 世紀？	口縁部 内外面：回転ナデ 底部 外面：回転糸切り 内面：ナデ	①砂粒をあまり含まない ②良 ③灰色	反転復元。
229 － 11	土製品	6 区 9Gr	長さ　12.9 最大径 5.8	断面は楕円形で一端はやや径が大きくなる。手捏で成形している。用途及び時期不明。	表面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒を少し含む ②やや良 ③橙色	
229 － 12	土製品	6 区 10・11Gr 地山直上層	最大径 3.4	断面は不整な楕円形で一端はやや径が大きくなる。手捏で成形している。用途及び時期不明。	表面：ナデ	① 1mm 以下の砂粒をやや多く含む ②やや良　③にぶい橙色	

石製品観察表

挿図番号	種　類	出土地点	遺存状態	石　材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備　考
21 － 1	砥石	1 区 SK14 1 層	一部欠	砂岩	7.6	4.1	3.6	123	細かい砥石。4 面に研磨面を残し、そのうち 1 面には鋭利なもので引っ掻いたような細い条溝が複数残る。
39 － 1	鑿状片刃石斧	1 区 SK26 1 層	一部欠	頁岩	4.3	1.2	1.0	10	作りがあまり良くないため全体的に丸味を帯びる。弥生時代中期頃。
47 － 1	筋砥石	1 区 SK33 1 層	完存	石英安山岩	16.7	12.6	6.7	1335	2 面に複数の磨筋が残る。
59 － 1	砥石	1 区 SD06 1 層	一部欠	砂岩	10.8	5.7	8.0	390	粗い砥石。1 面に研磨面を残し、他の 1 面に断面「V」字状を呈する切り込み状の条溝が 1 条残る。
59 － 2	砥石	1 区 SD06 1 層	一部欠	砂岩	6.4	8.2	8.8	565	粗い砥石。2 面に研磨面を残し、同一面に鋭利なもので引っ掻いたような条溝も複数観察できる。
78 － 1	石斧？	1 区 3Gr 地山直上層	一部欠	頁岩	3.3	3.0	0.5	10	表面に研磨面、裏面に自然剥離面が残る。側面にも研磨面が残る。
87 － 1	砥石	2 区 SK18 7 層	一部欠	砂岩	6.7	6.5	4.6	220	粗い砥石。3 面に研磨面を残し、うち 1 面には切り込み状の条溝も認められる。
90 － 1	敲石？	2 区 SK19 1 層	完存	凝灰岩	17.8	14.1	10.0	2000 ～ 2500	表面に切り込み状の条溝や打痕が複数残る。
116 － 1	砥石	2 区 SD04	一部欠	泥岩	13.5	6.2	9.2	870	細かい砥石。1 面に研磨面が残る。
128 － 1	砥石	3 区 SK01 1 層	一部欠	砂岩	5.5	5.8	2.8	138	研磨面が認められるため、石斧を転用した砥石と思われる。縁には面を有し敲打痕が残る。
141 － 1	砥石	3 区 SD01 3 層	一部欠	砂岩	11.0	7.3	4.7	425	粗い砥石。4 面に研ぎ面が残り、うち 1 面には切り込み状の条溝が複数残る。
141 － 2	不定形刃器	3 区 SD01 1 層	完存	流紋岩	10.2	7.1	1.2	90	石核から打ち剥がされた後に、何も加工を施されていない石片と考えられる。剥離面に貝殻状裂痕、放射状裂痕などが観察できる。一部刃が付けられている可能性がある。
146 － 1	剥片	3 区 SD04 1 層	完存	泥岩	6.2	4.3	0.9	30	石核から打ち剥がされた後に、何も加工を施されていない石片と考えられる。剥離面に貝殻状裂痕、放射状裂痕などが観察できる。刃は付けられていない。
167 － 1	管玉	4 区 SK17 1 層	完存	碧玉	1.3	径 0.3	孔径 0.1	0 ～ 1	一方向よりほぼ同じ径の孔を穿っている。弥生時代中期？
186 － 1	石斧	4 区 15・16Gr 全体 3 層	一部欠	変成岩	12.5	5.0	3.9	385	伐採用の石斧。刃部は欠損している。頂部に敲打痕が残る。